

棚POWER[®]操作テキスト

帳票作成編

2020年10月



目次

I. 棚 POWER における帳票とは	1
帳票とは	1
II. 棚割モデルの陳列内容出力する	2
棚割図	2
棚割表	4
棚割図表	8
陳列商品一覧表	10
使用什器一覧表	12
陳列 POP 一覧表	13
仮置商品一覧表	14
設定保存・読込	15
一括出力	16
III. 新旧の棚割モデルを比較して追加変更内容出力する	17
追加変更一覧表	17
追加変更棚割図	19
追加変更棚割表	21
追加変更棚割図表	23
一括出力(追加変更)	25
IV. 複数の棚割モデルを対象に一括で帳票出力する	26
一括出力	26
一括出力(追加変更)	29
一括出力(同時出力)	32

I. 棚POWERにおける帳票とは

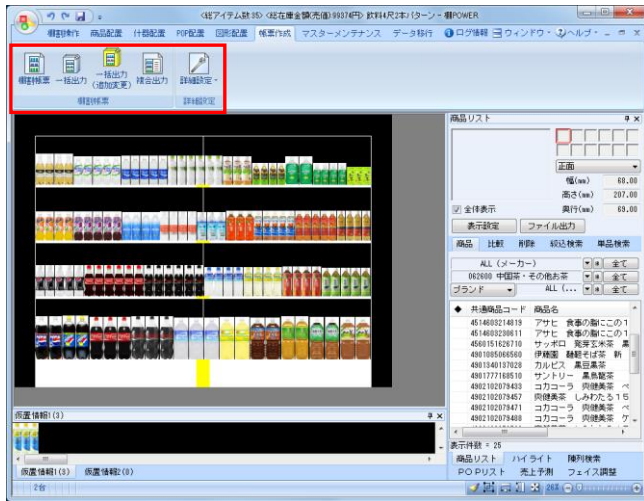
棚割モデルを元に、陳列商品の一覧や追加、カットになった商品の一覧など、棚割モデルの確認や提案、指示に使用できる指示書、提案書を作成できます。

棚POWERでは、この指示書、提案書のことを「帳票」と呼びます。
印刷の他、ほとんどの種類の帳票でExcel、PDF出力が可能です。

棚POWERの帳票は、大きく分けて「棚割帳票」と「集計帳票」の2種類があります。

「棚割帳票」は作成した棚割モデル1つに対して1帳票を出力します。

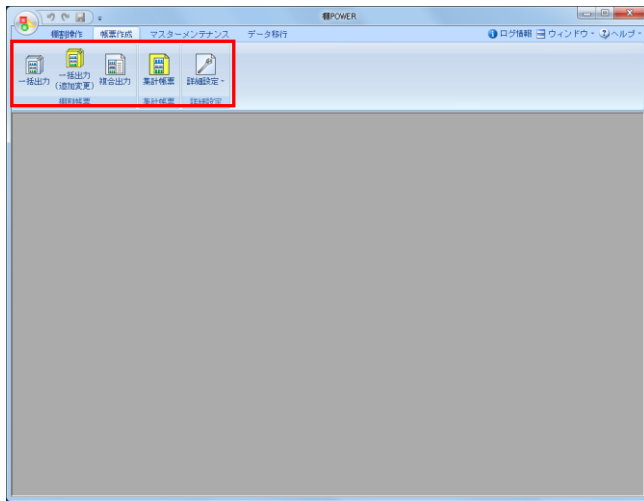
「集計帳票」は作成した棚割モデルを複数選択して集計し、1帳票を出力します。



1. 棚割モデルを表示している時としていない時とでは、表示される機能が異なります。

棚割モデルを表示している場合の帳票は [棚割帳票] , [一括出力] , [一括出力 (追加変更)] , [複合出力] 機能が表示されます。

これらはすべて表示している棚割モデルの陳列を元に出力します。



2. 棚割モデルを表示していない場合の帳票は、 [一括出力] , [一括出力 (追加変更)] , [複合出力] , [集計帳票] 機能が表示されます。

これらは任意で複数選択した棚割モデルの陳列を元に出力します。

ご紹介する帳票

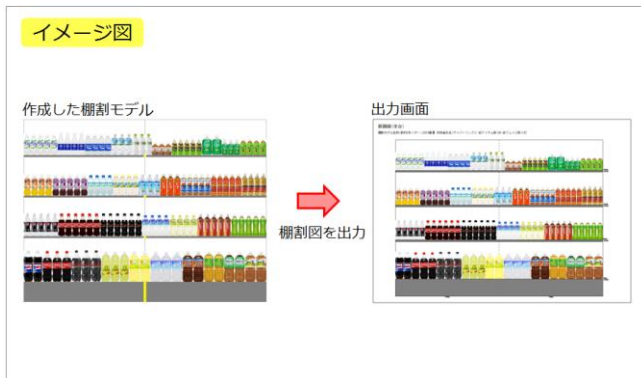
3. 本テキスト (帳票作成編) では、「棚割帳票」「一括出力」「一括出力 (追加変更)」の機能についてご説明します。



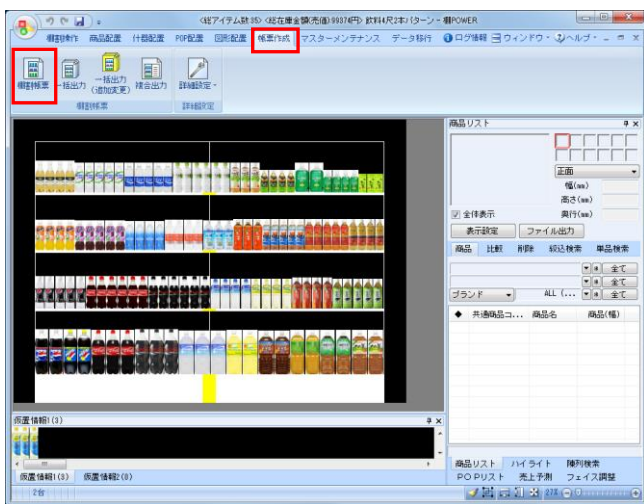
Ⅱ. 棚割モデルの陳列内容を出力する

開いている棚割モデルに対して、選択した 1 帳票を出力する「棚割帳票」機能をご説明します。

■ 棚割図



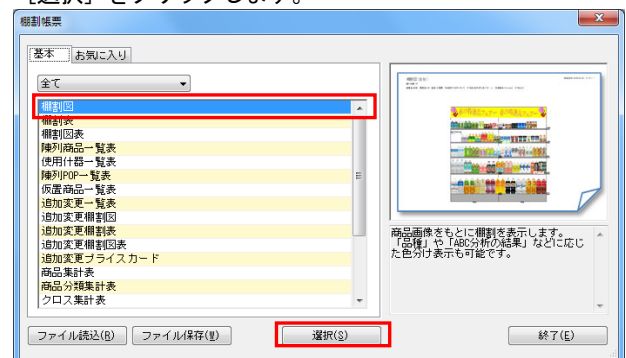
1. 棚割モデルを元に、商品画像を使用して実際の棚割を写真で撮影したような画像（図）を出力できます。印刷出力の他に、Excel、PDFファイルとして直接出力が可能です。



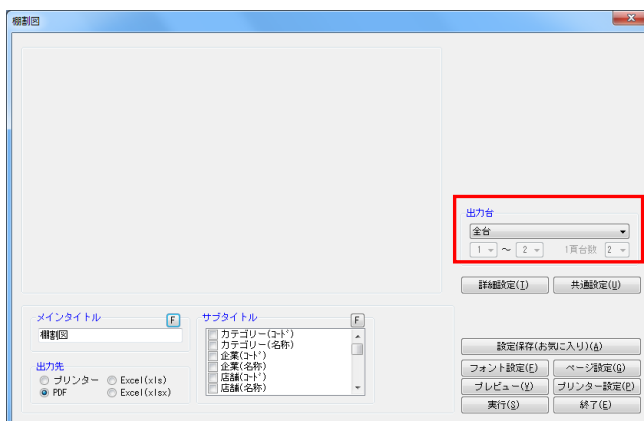
2. 「棚割帳票」から出力します。棚割帳票から出力する場合は、棚割モデルを選択、表示している必要があります。

「帳票作成」－「棚割帳票」をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

「基本」メニューより「棚割図」をクリックして「選択」をクリックします。



※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です

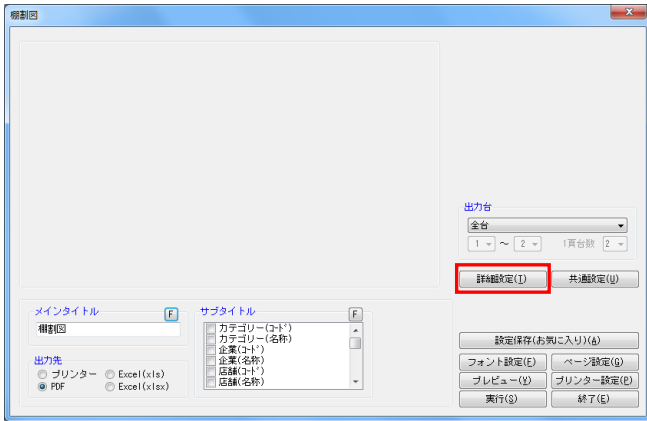


3. 出力設定を行いません。出力台で「全台」か「台別」かを設定します。

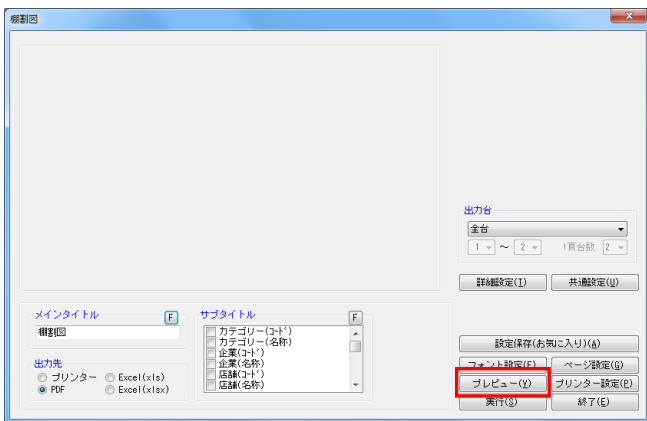
複数の仕器を使用している場合に、全台を1枚（シート）に出力するか、1台ごと1枚（シート）に出力するかを選択します。

参考

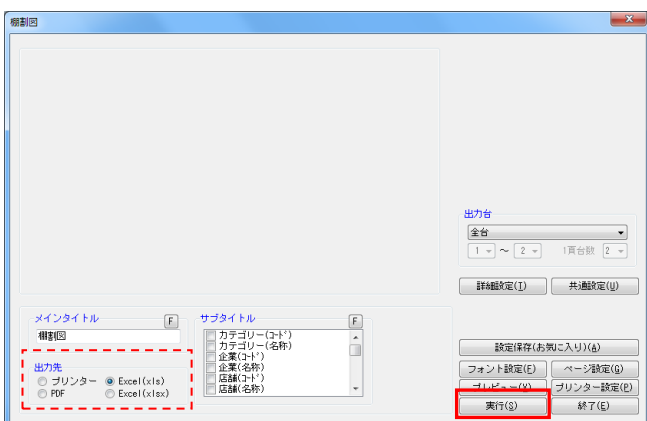
メインタイトルやサブタイトルを設定することで画面左上に出力するタイトルや棚割モデルの情報（サブタイトル）を選択します



4. 必要時は「詳細設定」も設定します。
 詳細設定では、「棚サイズ」を同時に出力するか否か
 ①、仕切板やフリー領域を陳列している場合に出力するか否か ②、またExcel出力の際の画像の大きさはどのくらいにするか ③、売上情報を帳票に表示する場合どの項目を表示するか ④ 等を設定できます。



5. 設定が完了したら、「プレビュー」をクリックして確認します。

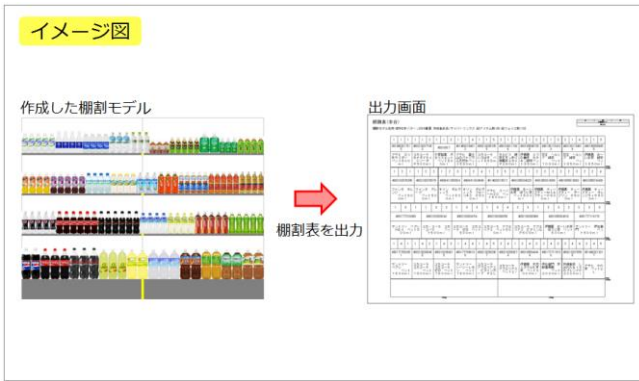


6. 「出力先」より出力したい形式を選択して、「実行」をクリックします。

Excel, PDFファイルの場合は「名前を付けて保存」画面が表示されるため、任意の場所にファイル名を付けて保存を実行してください。

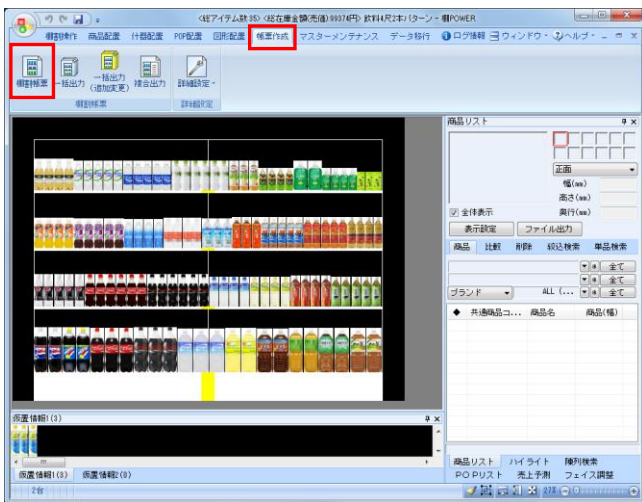
参考
 「Excel (xls)」はOffice2003までの形式、「Excel (xlsx)」はOffice2007以降の形式です。
 使用しているバージョンにより選択してください。

■ 棚割表



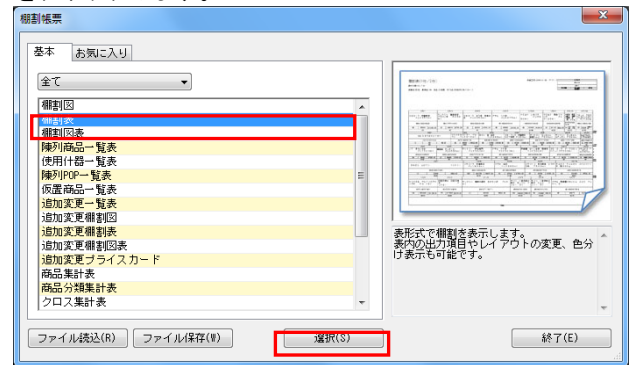
1. 棚割モデルに陳列している商品の共通商品コードや商品名などの文字情報を、陳列している位置のまま表として出力できます。

印刷出力の他に、Excel、PDF ファイルとして直接出力が可能です。



2. 「帳票作成」タブの「棚割帳票」をクリックします。

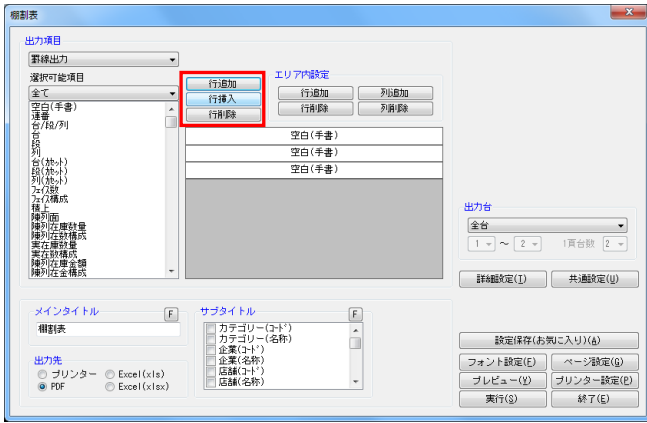
作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。
「基本」メニューより、「棚割表」をクリックして「選択」をクリックします。



※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です



3. 「出力項目」を「罫線出力」にします。
設定した文字情報を罫線で区切って出力します。
印刷、PDF、Excel の直接出力が可能です。

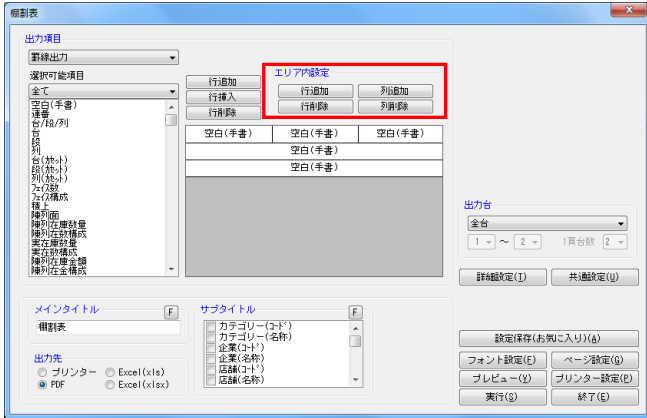


4. レイアウトの設定を行いません。
必要な項目に合わせて全体の行数設定を行いません。
各機能の詳細は下記の通りです。

【行追加】
レイアウト上の最終行に空白行を追加します

【行挿入】
レイアウト上の選択している行の上に空白行を追加します。

【行削除】
レイアウト上の選択している行を削除します



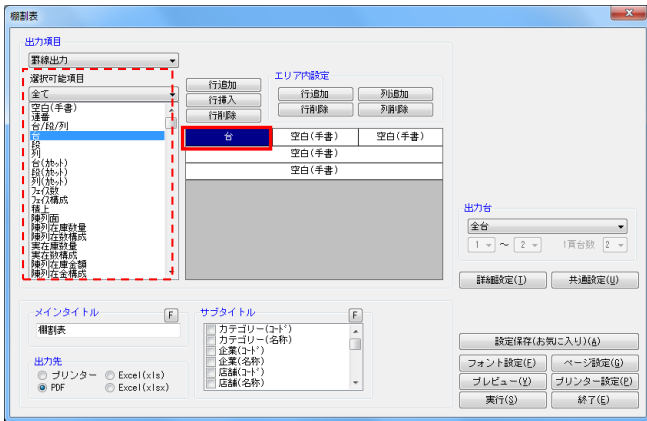
5. 行高や列区切りなどレイアウトのエリア設定を行いません。
各機能の詳細は下記の通りです。

【行追加】
1行の高さを追加できます。商品名など出力する内容が長くなる場合に1行内に複数行分の高さを確保します。

【行削除】
上記「行追加」で増やした高さを削除します。

【列追加】
1行内に列を追加して分割します。
最大3列まで分割できます。

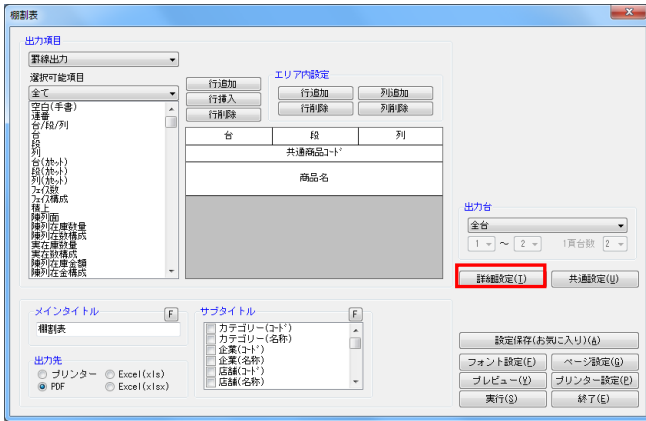
【列削除】
上記「列追加」で追加した列を削除します。



6. 設定したレイアウト上でクリックし、「選択可能項目」から出力したい項目をクリックします。

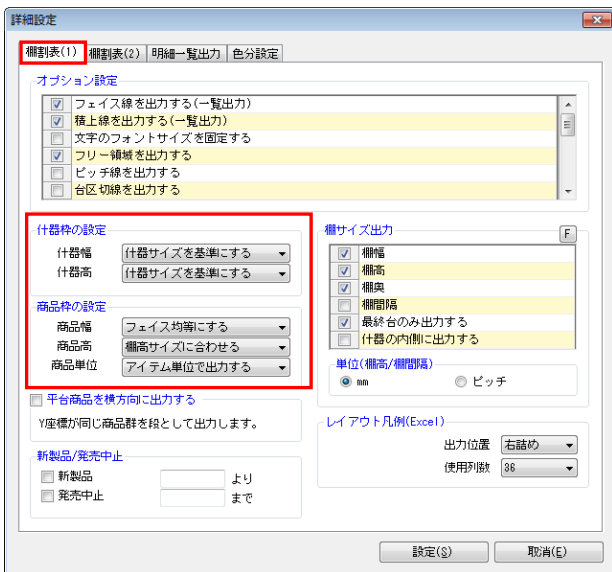
出力設定、出力先の選択を行ない、[実行] をクリックして出力します。





7. 棚割表は陳列している商品の並び通りに出力しますが、商品ひとつの大きさは均等で出力したり、商品のサイズを反映したり、様々な設定で出力することができます。

商品のサイズに合わせて表を作成、出力する場合は「詳細設定」をクリックします。



8. 「棚割表 (1) 」タブを開きます。
商品枠の設定を設定します。

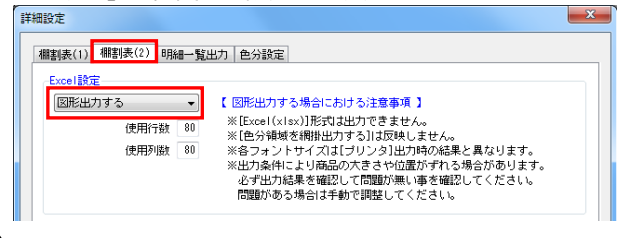
「商品幅」・・・商品サイズを基準にする
「商品高」・・・商品サイズを基準にする
「商品単位」・・・フェイス単位で出力する

※アイテムでまとめた場合は「アイテム単位で出力する」を選択します

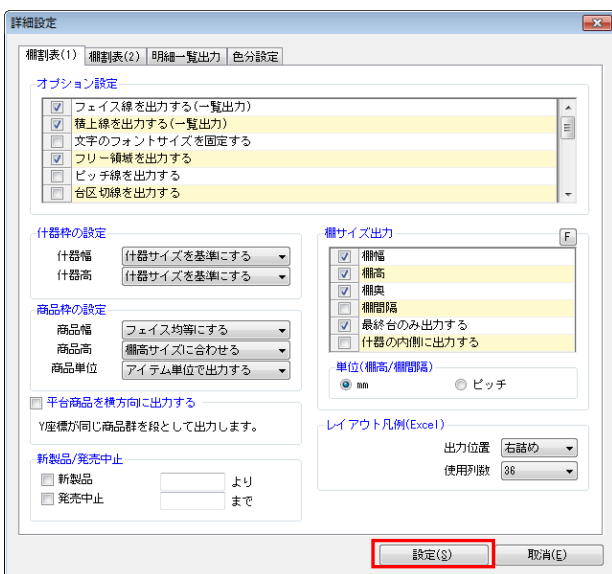
什器サイズも反映したい場合は、「什器枠の設定」で什器幅・什器高を「什器サイズを基準にする」にします。

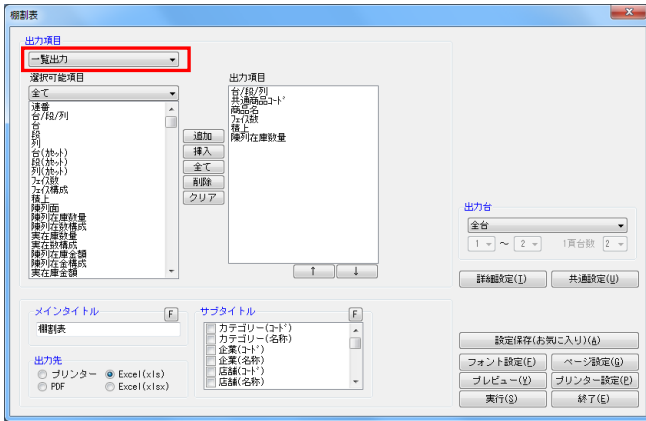
参考

棚割表のExcel出力で商品サイズを反映したい場合、「棚割表(2)」タブに切り替え、Excel設定を「図形出力する」に変更して設定します。



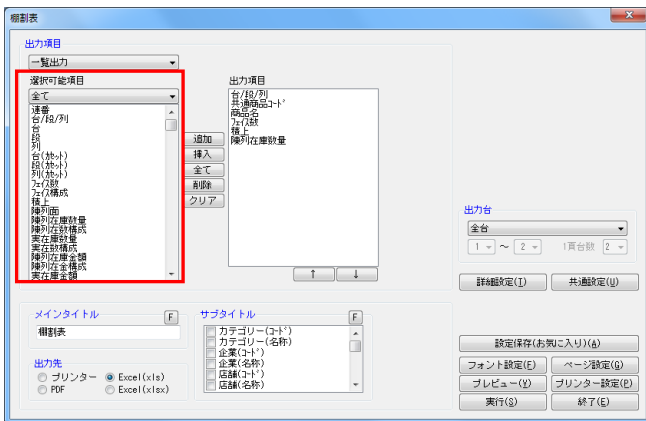
9. 「設定」をクリックします。
その他設定を行ない、出力を実行します。





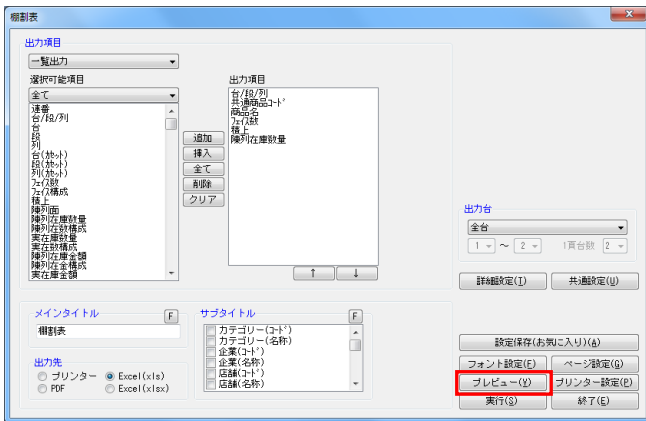
10. 一覧出力では、出力する文字情報をセルで区切らず、連続して表示ができます。
「出力項目」を「一覧出力」にします。

印刷、PDF 出力が可能です。表を図形として出力する場合は Excel 出力も可能です。



11. 「出力項目」内に必要な項目を選択します。
左側「選択可能項目」内の確認したい項目をダブルクリックして、出力項目内に設定します。

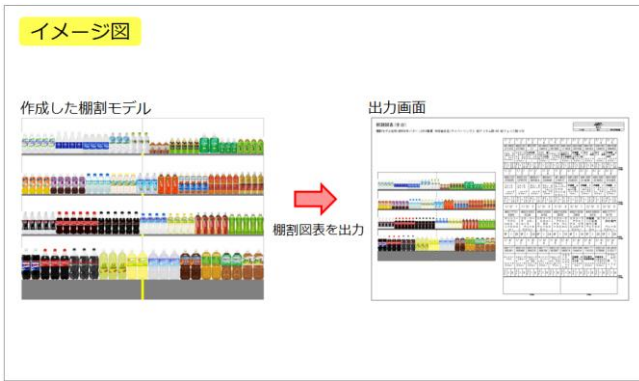
また、「出力項目」内に不要な項目があった場合は、項目名をダブルクリックして削除します。



12. 設定が完了したら、[プレビュー]または[実行]をクリックします。

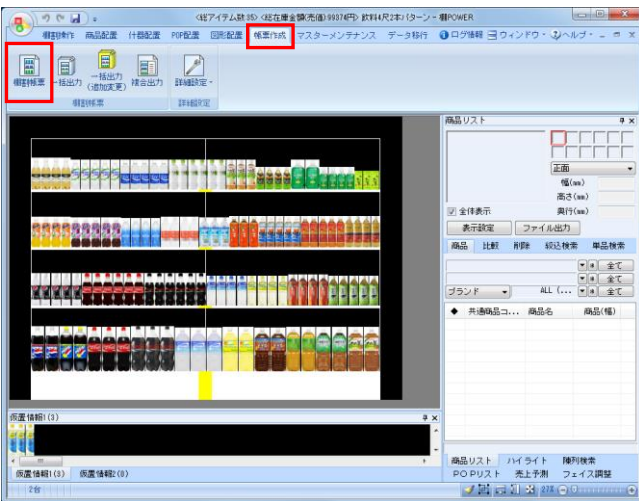


■ 棚割図表



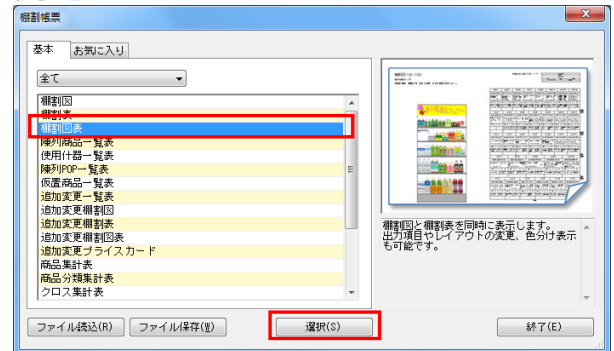
1. 棚割図と棚割表を組み合わせると同時に出力できます。左側に棚割図、右側に棚割表というように一目で図と表を確認できます。

印刷出力の他に、Excel、PDF ファイルとして直接出力が可能です。

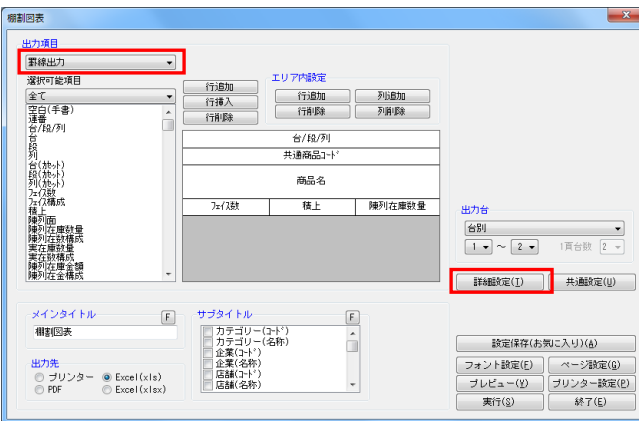


2. 「帳票作成」タブ内「棚割帳票」をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

「基本」メニューより、「棚割図表」をクリックして「選択」をクリックします。

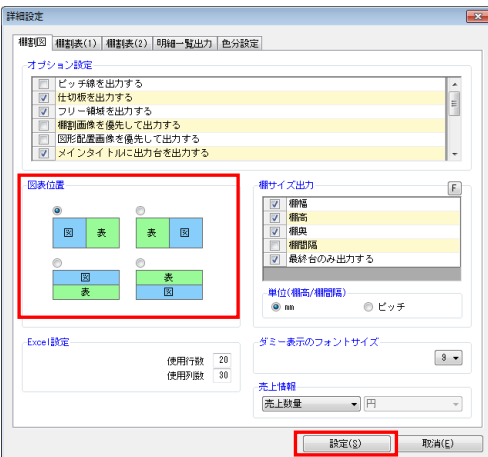


※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です



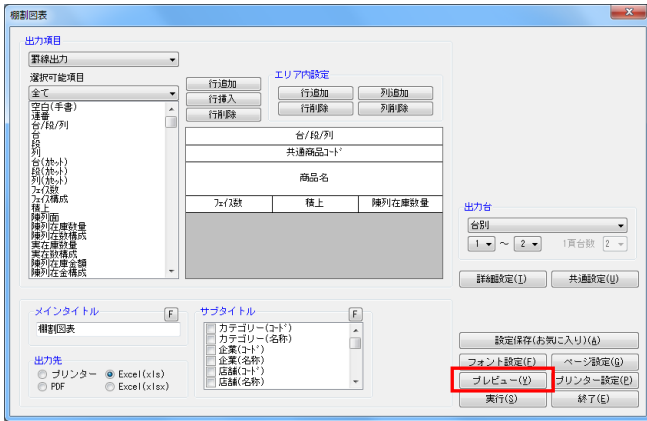
3. 「出力項目」より罫線出力が一覧出力を選択します。「罫線出力」の設定方法は4ページ、「一覧出力」の設定方法は7ページを参照してください。

棚割の図と表の位置を変更することが可能です。位置を変更する場合には「詳細設定」をクリックします。



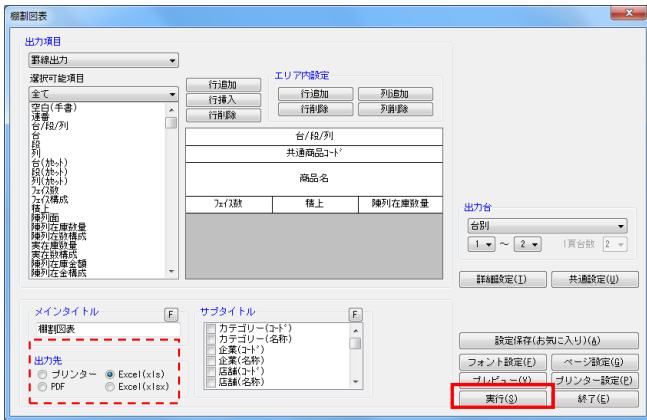
4. 「棚割図」タブ内の「図表位置」より、図と表の位置を選択します。

設定後は「設定」をクリックします。



5. その他出力設定を行いません。
設定方法は3ページの4を参照してください。

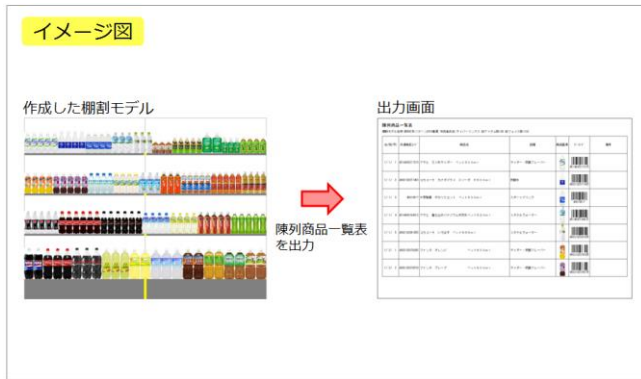
設定が完了したら、[プレビュー] をクリックして確認することが可能です。



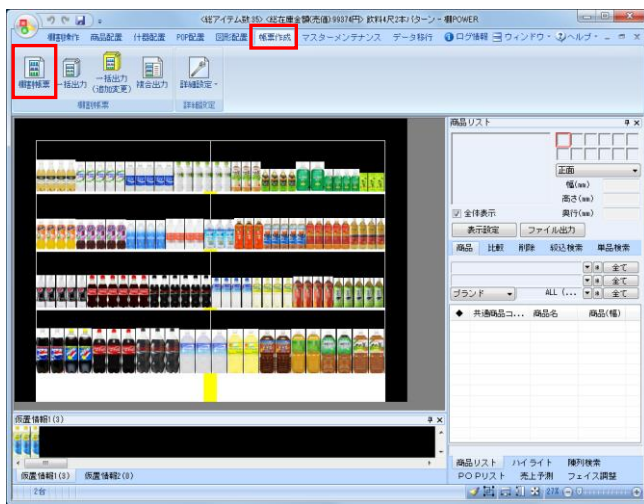
6. 「出力先」より出力したい形式を選択して、
[実行] をクリックします。

Excel, PDFファイルの場合は「名前を付けて保存」画面が表示されるため、任意の場所にファイル名を付けて保存を実行してください。

■陳列商品一覧表

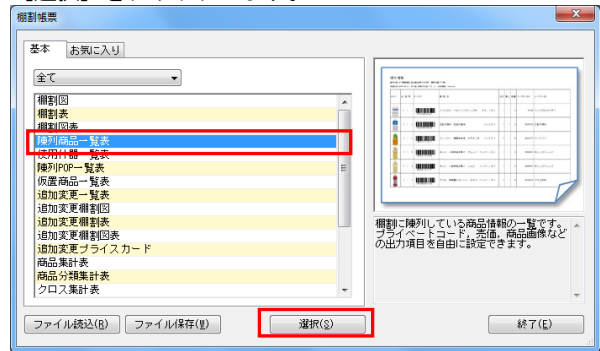


1. 棚割に陳列している商品の情報を一覧表形式で出力します。
共通商品コードや商品名などの文字情報のほかに、バーコードや商品画像も出力できます。

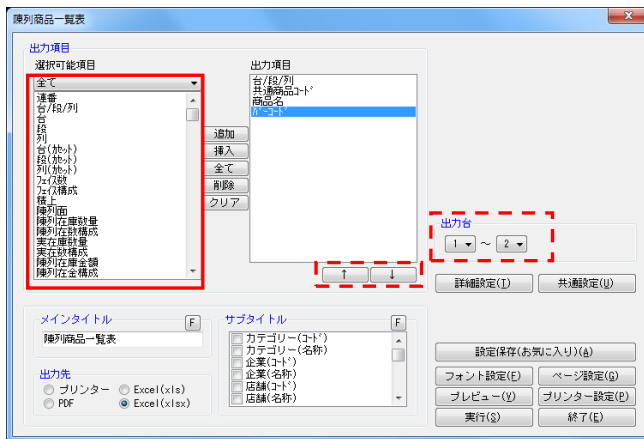


2. [帳票作成] タブ [棚割帳票] をクリックします。
作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

[基本] メニューより、「陳列商品一覧表」をクリックして [選択] をクリックします。



※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です

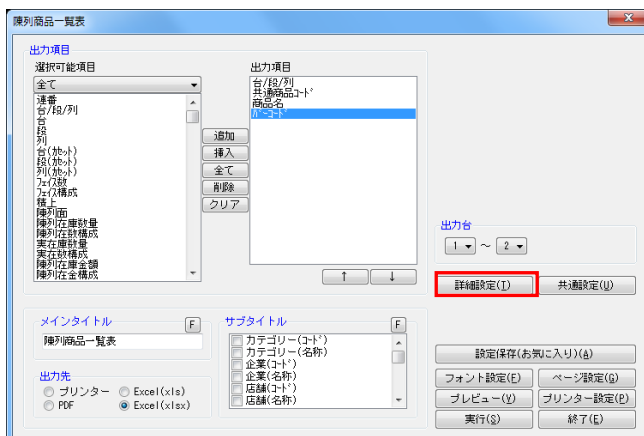


3. 出力項目の設定を行いません。
左側「選択可能項目」内の確認したい項目をダブルクリックして、出力項目内に設定します。

「出力項目」内に不要な項目があった場合は、項目名をダブルクリックして削除します。

出力項目の順番を変更するには、順番を変更したい項目をクリックした後、[↑] で上に移動、[↓] で下に移動します。

設定後には出力台で出力対象とする台数を指定します。

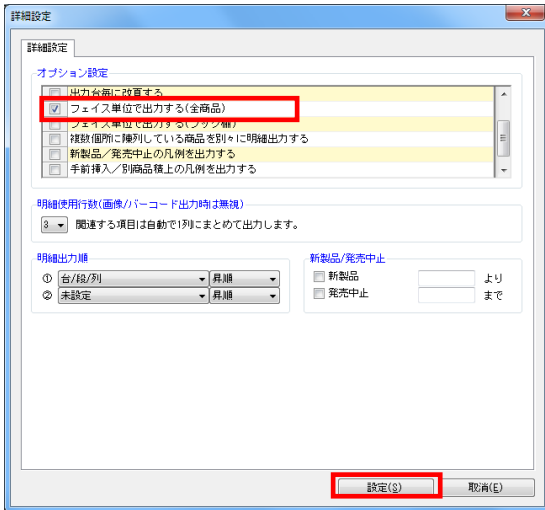


4. [詳細設定] や [共通設定] の設定により、様々な出力方法を設定できます。

[詳細設定] をクリックします。

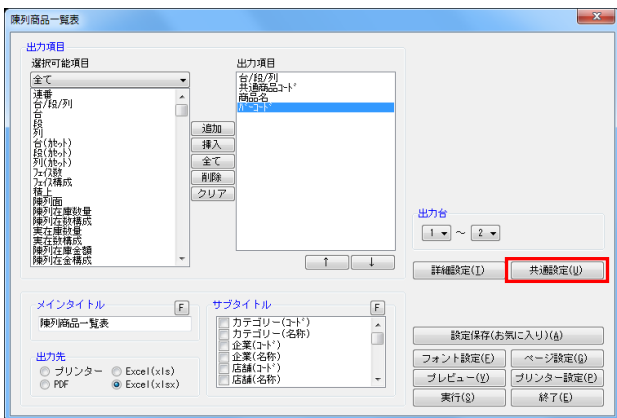
参考

メインタイトルやサブタイトルを設定することで画面左上に出力するタイトルや棚割モデルの情報(サブタイトル)を選択します



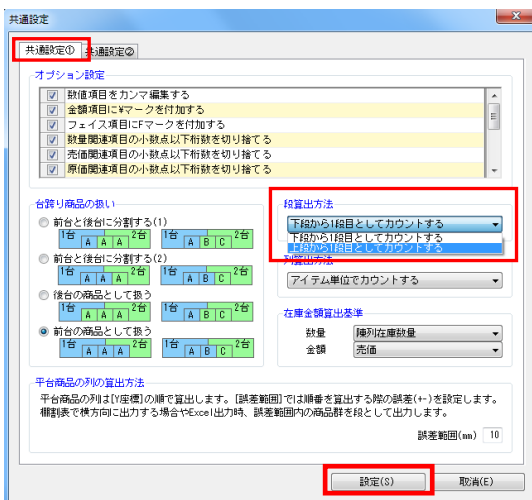
5. 陳列商品一覧表では、複数の台に同じ商品が並んでいた場合は、一番左側の台に陳列している商品にまとめて内容を記載します。

まとめずに、陳列しているそれぞれの台として出力したい場合にはオプション設定内の「フェイス単位で出力する(全商品)」を有効にして[設定]をクリックします。



6. 段をカウントする際に下段から1段目としてカウントするか上段から1段目としてカウントするかの設定も可能です。

段算出方法を変更する場合には[共通設定]をクリックします。

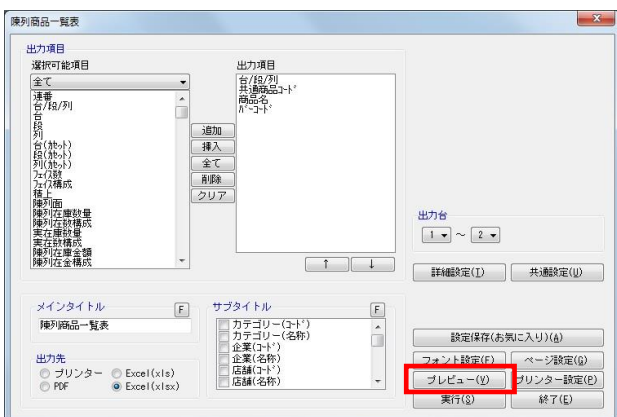


7. 棚POWERでは段をカウントする際、下段より1段目として数えるように初期設定されています。

これを「1段=上段から数える」ように変更するには、[共通設定①]タブの「段算出方法」を「上段から1段目としてカウントする」に変更して[設定]をクリックします。

参考

共通設定の「列算出方法」では、「列番号」をアイテム単位にするか、フェイス単位にするかを設定できます。

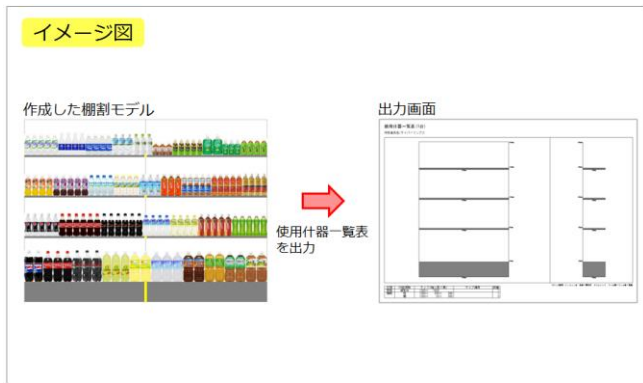


8. 設定が完了すれば[プレビュー]をクリックして確認します。

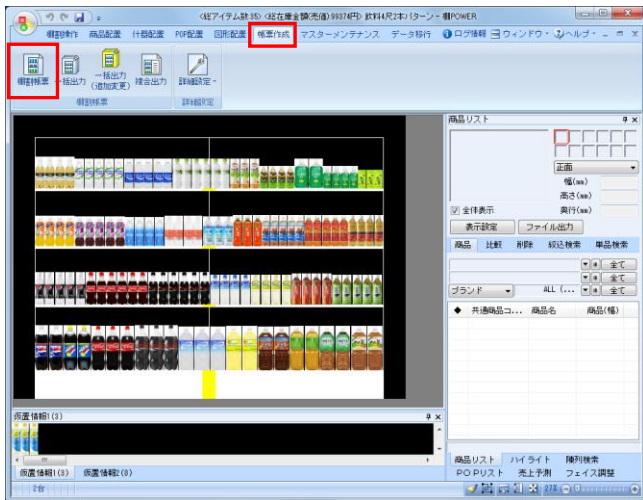
プレビュー確認後に出力する場合は「出力先」より出力したい形式を選択して実行します。

Excel, PDFファイルの場合は「名前を付けて保存」画面が表示されるため、任意の場所にファイル名を付けて保存を実行してください。

■使用什器一覧表

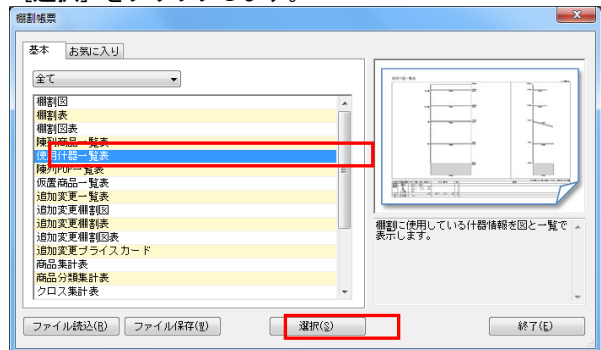


1. 棚割モデルに使用している什器のサイズや棚板の枚数など、什器情報を出力できます。



2. 「帳票作成」タブー「棚割帳票」をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

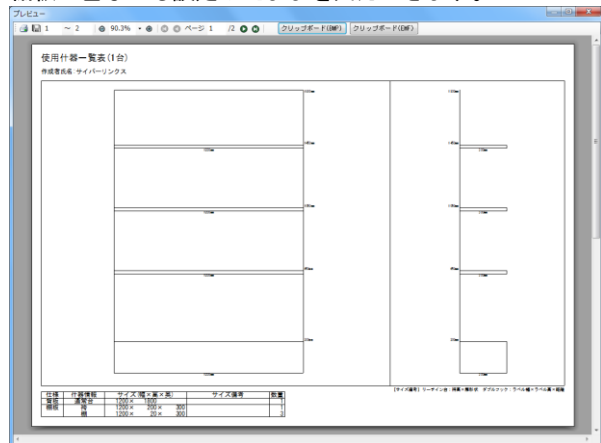
「基本」メニューより、「使用什器一覧表」をクリックして「選択」をクリックします。



※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です



3. 「台別出力(正面図+側面図)」で実行(プレビュー)すると1台ずつ什器の正面、側面図とサイズ、数量を出力できます。棚板の色なども設定したままを出力できます。



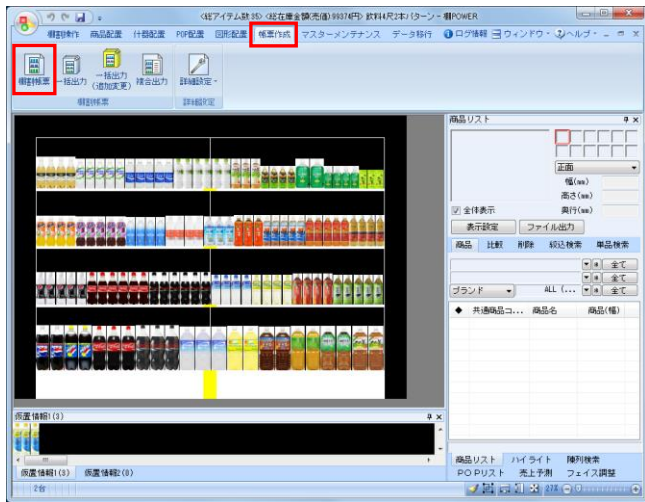
4. 「合計出力(明細)」で実行(プレビュー)すると全台分の什器種別、サイズ、数量をまとめて出力できます。

項目	幅	高さ	奥行	数量	その他
通電台	1200	1800		2	
棚	1200	200	300	2	
棚	1200	20	300	6	

■陳列POP一覧表

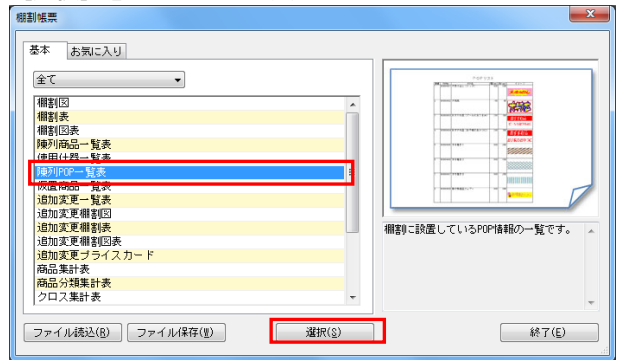


1. 棚割モデルに貼りつけたPOPを一覧にして出力できます。

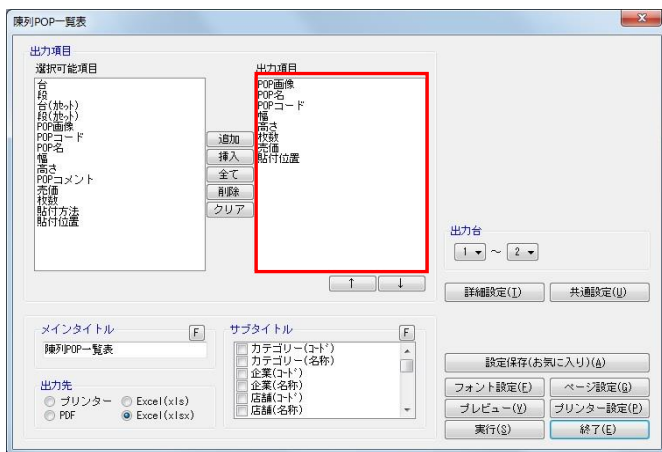


2. 「帳票作成」タブー「棚割帳票」をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

「基本」メニューより、「陳列POP一覧表」をクリックして「選択」をクリックします。

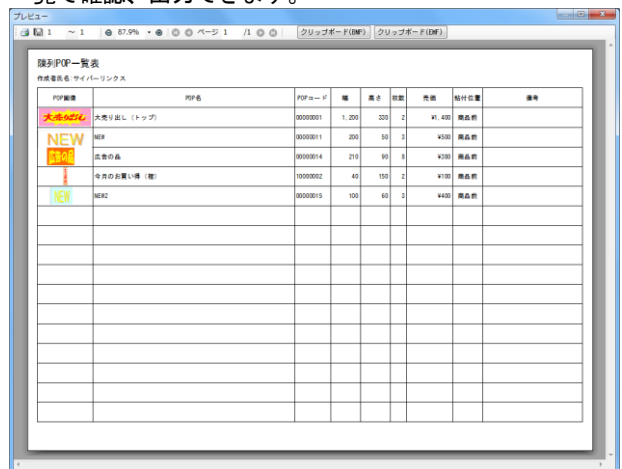


※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です



3. 「出力項目」欄に必要な項目を選択します。出力項目の設定方法は陳列商品一覧表(7ページ)を参照してください。

POPの画像やコード、名称、サイズや貼付方法なども一覧で確認、出力できます。

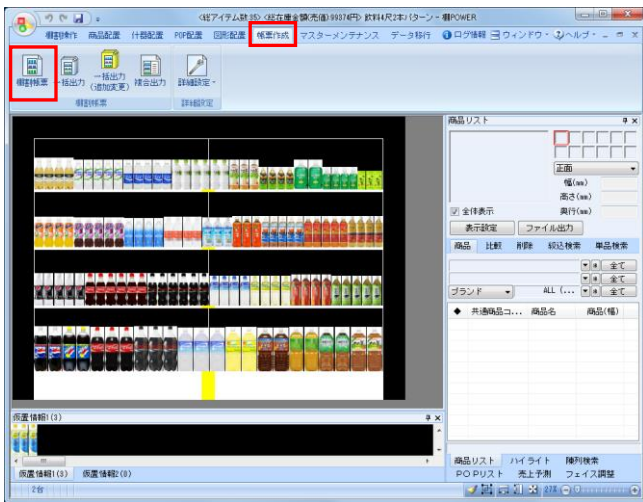


■ 仮置商品一覧表



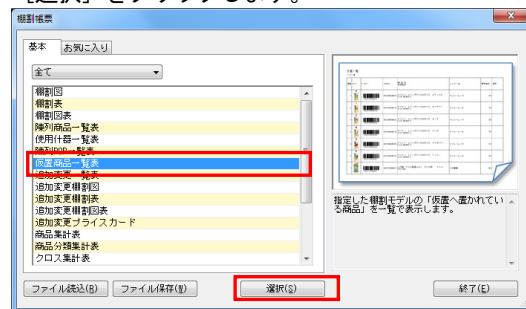
1. 棚割モデルの「仮置情報」に陳列している商品のみを一覧で出力できます。

仮置情報1, 仮置情報2 それぞれ、または両方同時に出力可能です。

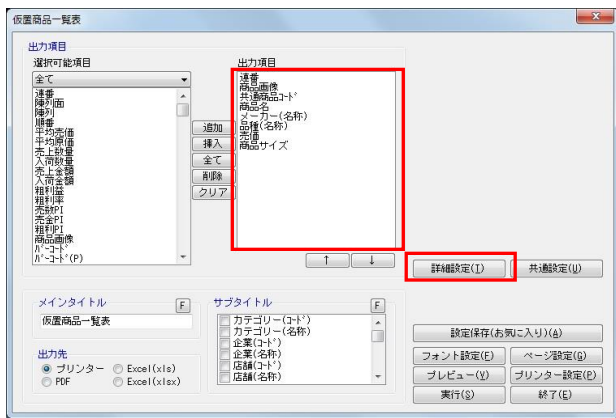


2. 「帳票作成」タブで「棚割帳票」をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

「基本」メニューより、「仮置商品一覧表」をクリックして「選択」をクリックします。

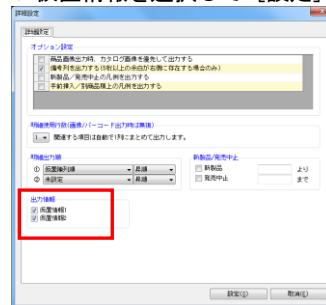


※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です

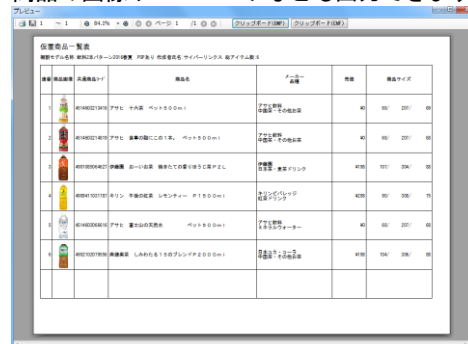
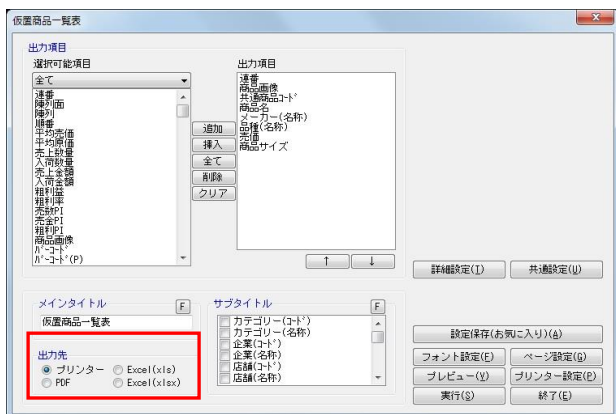


3. 「出力項目」欄に必要な項目を選択します。出力項目の設定方法は陳列商品一覧表(7ページ)を参照してください。

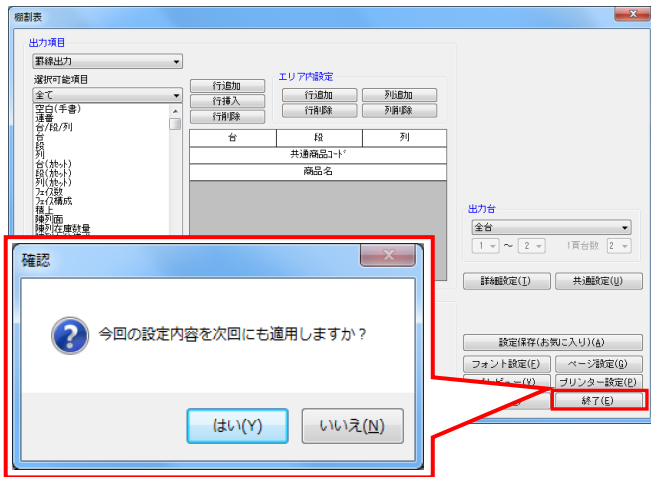
また「詳細設定」をクリックして「出力情報」より出力したい仮置情報を選択して「設定」をクリックします。



4. 出力先を選択して実行します。商品の画像やバーコードなども出力できます。



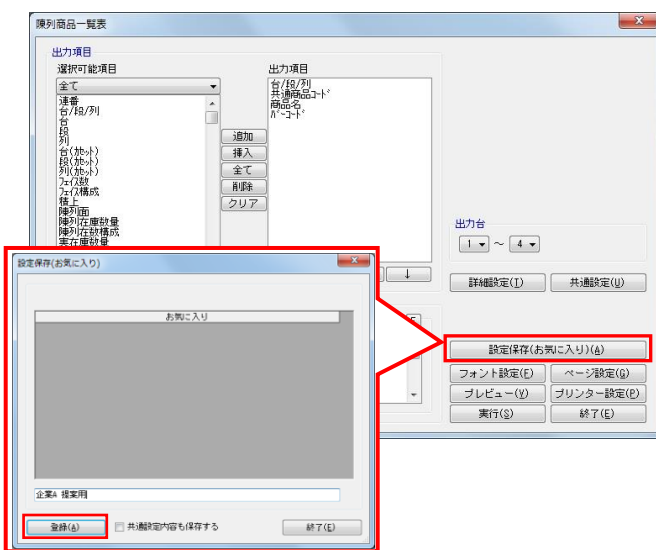
■ 設定保存・設定読込について



1. 帳票で設定した内容は、いくつかの方法で保持して次回も同じ内容で出力することができます。

帳票作成を終え、[終了]または[×]ボタンをクリックすると、設定内容に変更がある場合は「今回の設定内容を次回にも適用しますか?」メッセージが表示されます。

メッセージを[はい]で終了すると、変更した内容が保持され、次回開いた場合にも同じ内容が表示されるため、設定をし直すことなくすぐに出力できます。



2. この設定保持方法は、最後に設定した内容しか残すことができません。

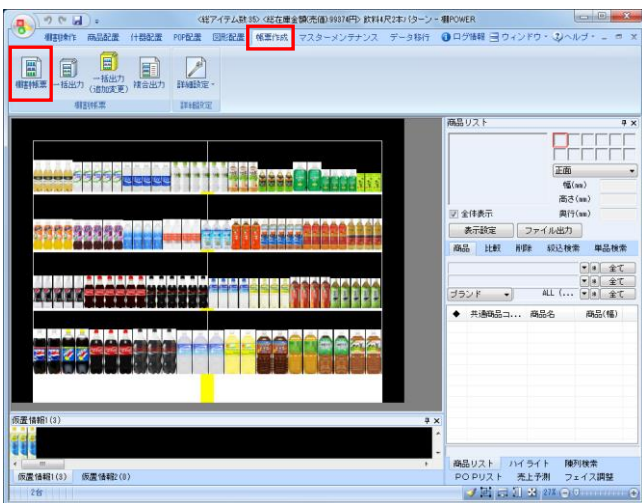
取引先別に出力項目を設定した内容を残しておきたいという場合には「お気に入り」機能を使用します。

各帳票の設定後、[設定保存 (お気に入り)] をクリックします。

どんな内容で設定したのか、どの取引先用かなど、後から確認した時に判る名称を付けて[登録]をクリックします。

※「共通設定内容も保存する」を有効にすると[共通設定]の内容も設定保存(お気に入り)に含めます。

設定の保存はこれで完了です。

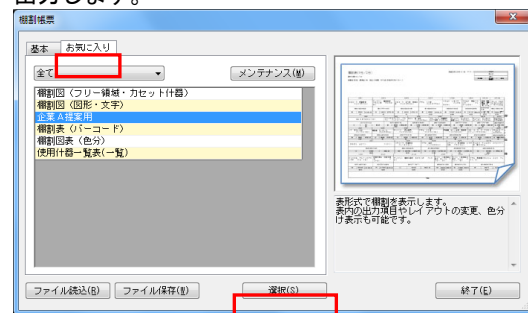


3. 保存した設定を次回呼出して使用します。
[帳票作成] タブー [棚割帳票] をクリックします。

タブを[お気に入り]に変更します。

名称をクリックすると、右側に何の帳票なのかの説明が表示されます。

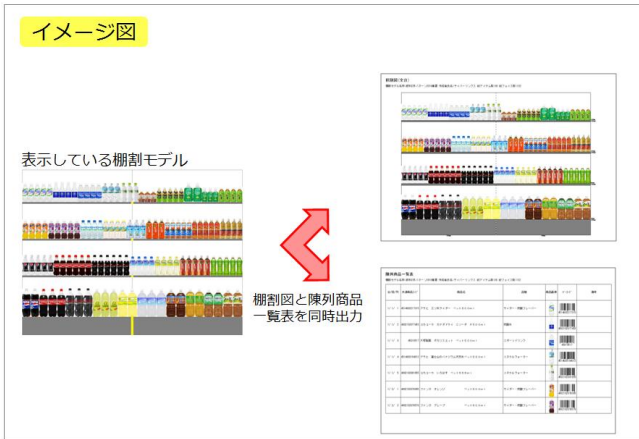
出力したい項目を選択して[選択]をクリックして、帳票を出力します。



参考

不要な設定の削除、名称の変更は[メンテナンス]から可能です。

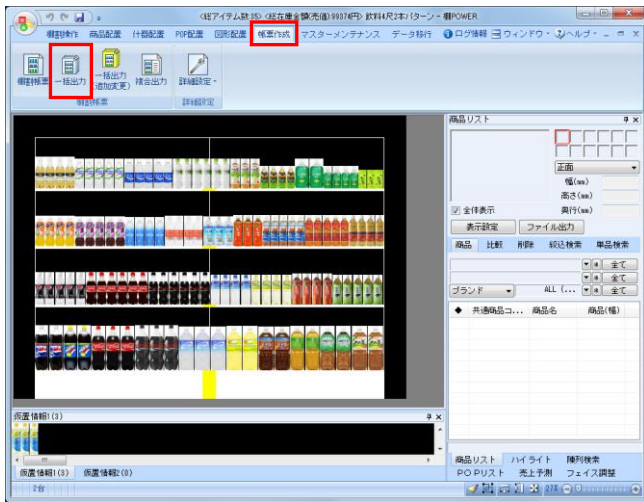
■一括出力



1. 「棚割帳票」からは、表示している棚割モデルを元を選択した帳票を出力しますが、「棚割図」と「陳列商品一覧表」を同時に出力したいというように、複数の種類の帳票を一括で出力するには、「一括出力」を使用します。

棚割モデルを表示した状態で使用する「一括出力」は、表示している棚割モデルを対象に、複数の帳票をまとめて出力できます。

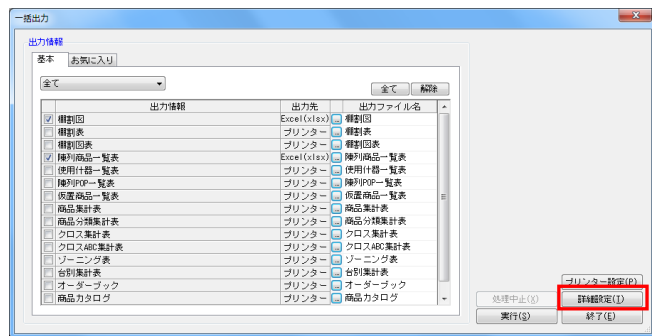
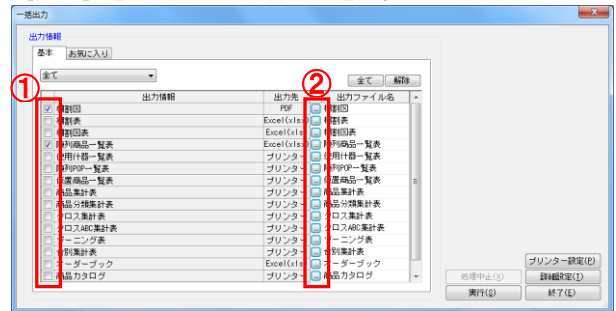
参考：
複数の棚割モデルを対象にまとめて出力する場合は、26ページを参照してください。



2. 「帳票作成」タブー「一括出力」をクリックします。一度に出力できる帳票の一覧が表示されます。

「基本」または「お気に入り」から、出力したい帳票のチェックボックスを有効にします。(①)
設定を確認、変更する場合は出力先横のセレクトボタンをクリックして設定画面を表示します。(②)

「実行」をクリックし、保存先を選択して出力します。

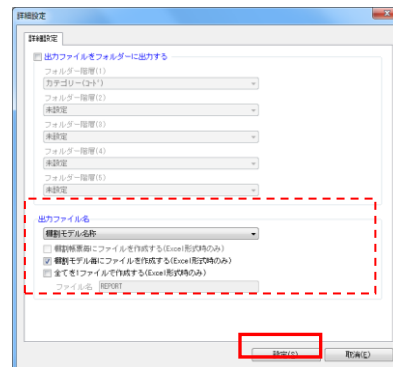


3. Excel出力であれば、棚割図と陳列商品一覧表など異なる種類の帳票を同一のExcelファイルに出力できます。

「詳細設定」をクリックして、「出力ファイル名」を「棚割モデル名称」にします。

また、「棚割モデル毎にファイルを作成する(Excel形式時のみ)」を有効にして「設定」をクリックします。

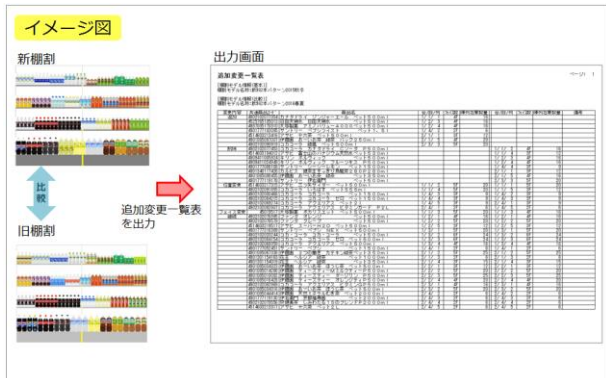
「実行」をクリックして、出力します。



Ⅲ. 新旧の棚割モデルを比較して追加変更内容を出力する

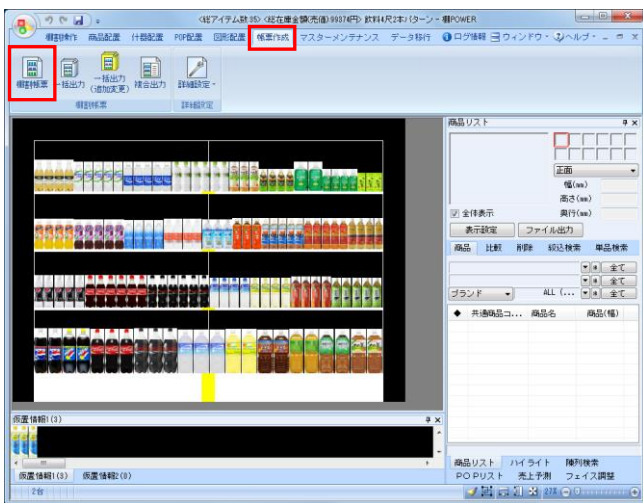
2つの棚割モデルを比較して新しく陳列された商品、削除された商品などの変更内容を出力することが可能です。
「追加変更系」と付いた帳票が、2つの棚割モデルを比較して出力する帳票であり、ここからは「追加変更系」の帳票を出力する手順をご説明します。

■追加変更一覧表



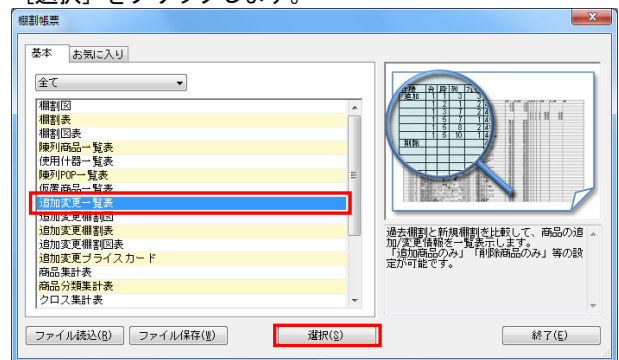
1. 陳列変更前と変更後の棚割モデル同士を比較して、追加や削除、位置変更といった変更内容を一覧表形式で出力して確認することができます。

また、新旧比較のほか、最大パターンとの比較や店舗別の比較などにも利用できます。

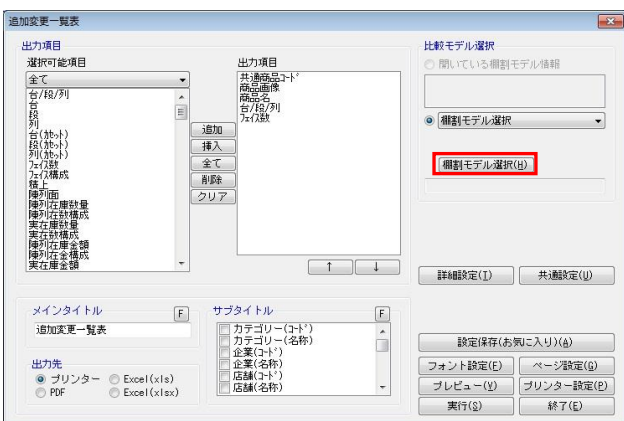


2. 「帳票作成」タブー「棚割帳票」をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

「基本」メニューより、「追加変更一覧表」をクリックして「選択」をクリックします。



※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です



3. 「棚割モデル選択」をクリックし、比較対象の棚割モデルを選択します。

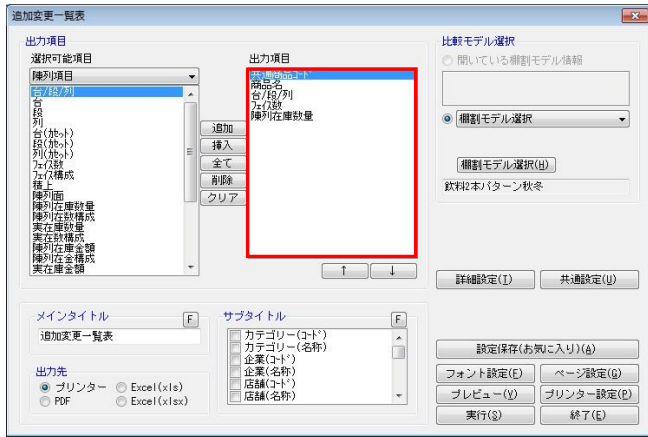
棚割モデルを検索して、比較対象となる棚割モデルを選択して「選択」をクリックします。

参考

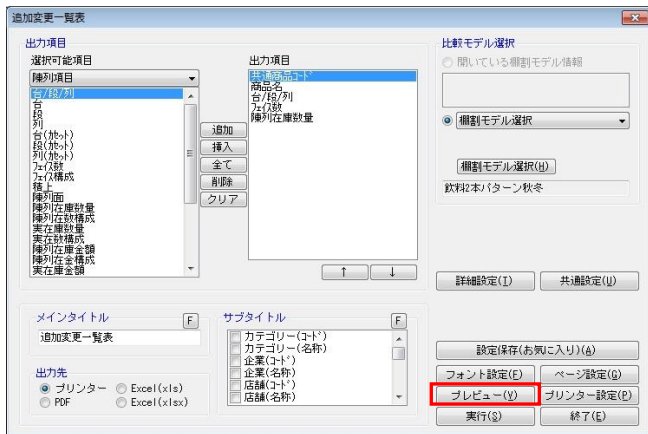
比較モデルは、陳列変更前・変更後の棚割で比較する場合は、陳列変更前の旧の棚割モデルを選択します。

複数の棚割モデルを表示している場合は、「開いている棚割モデル情報」より選択できます。

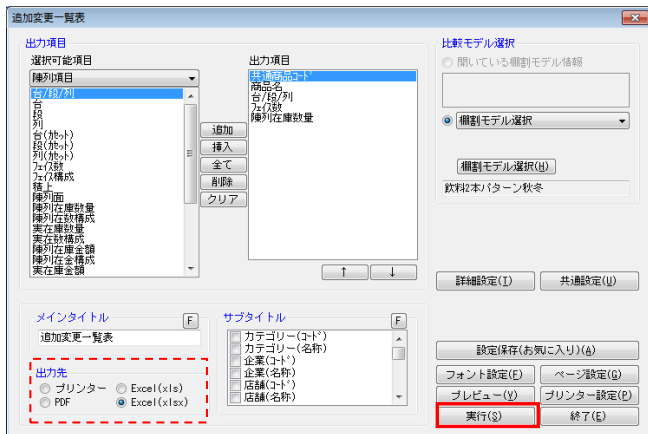
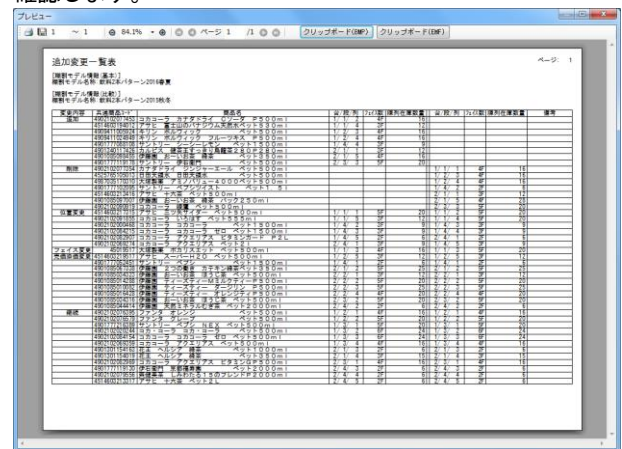
棚割モデルをまだ開いていない場合は「棚割モデル選択」もしくは「過去モデル」から選択します。「過去モデル」より、作成日付を指定すると、指定した日付を元に過去の棚割モデルの検索をかけることができます。



4. 「出力項目」欄に必要な項目を選択します。
出力項目の設定方法は陳列商品一覧表(7ページ)を参照してください。



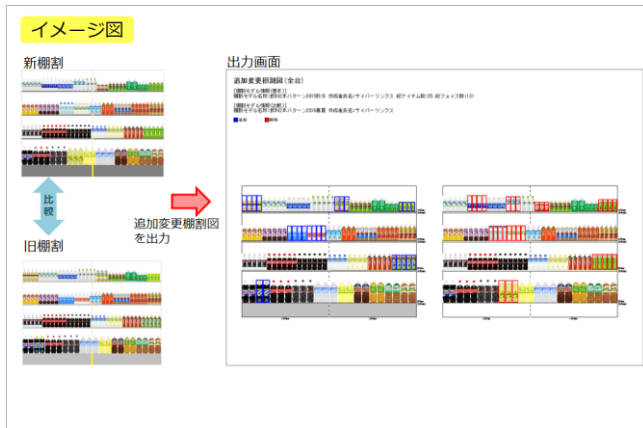
5. 設定が完了すれば、[プレビュー] をクリックして確認します。



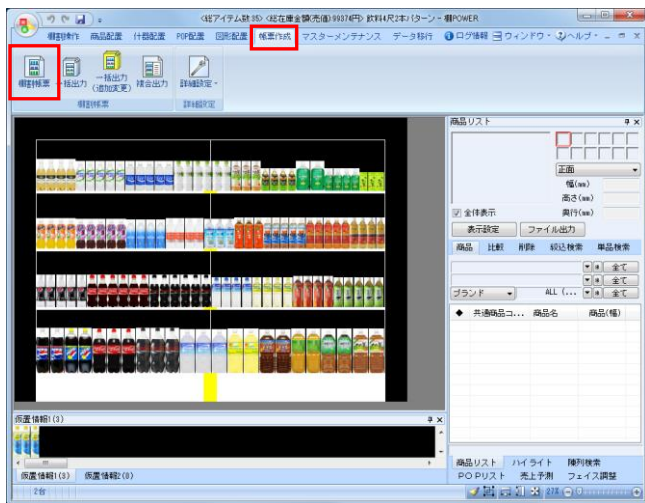
6. 「出力先」より出力したい形式を選択します。
[実行] をクリックして出力します。

Excel, PDFファイルの場合は「名前を付けて保存」画面が表示されるため、任意の場所にファイル名を付けて保存を実行してください。

■追加変更棚割図

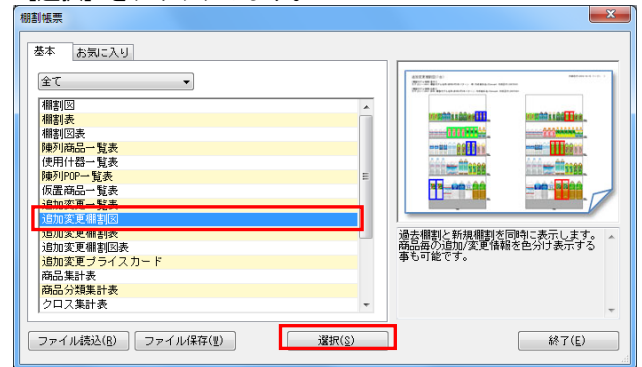


- 2つの棚割モデルを比較して、追加、変更になった商品に色を付けた棚割図を出力することが可能です。



2. 「帳票作成」タブー「棚割帳票」をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

[基本]メニューより、「追加変更棚割図」をクリックして「選択」をクリックします。



※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です

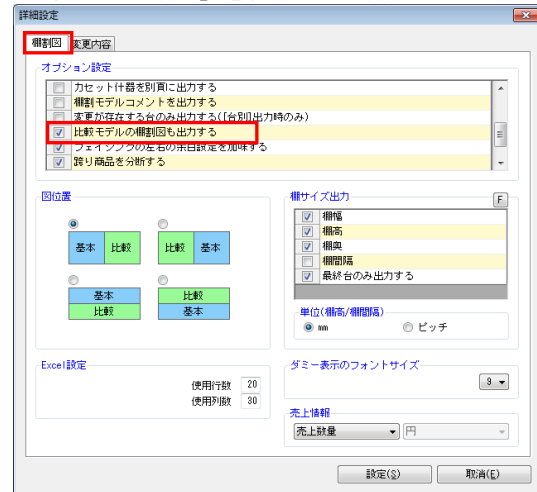


3. 「棚割モデル選択」をクリックし、比較対象の棚割モデルを選択します。棚割モデルの選択方法は17ページの3を参照してください。



4. 詳細設定より出力時の細かな設定ができます。
[詳細設定] を選択します。

比較する棚割モデルの棚割図（削除商品の表示）も出力する場合は、[棚割図] よりオプション設定内の「比較モデルの棚割図も出力する」を有効にします。



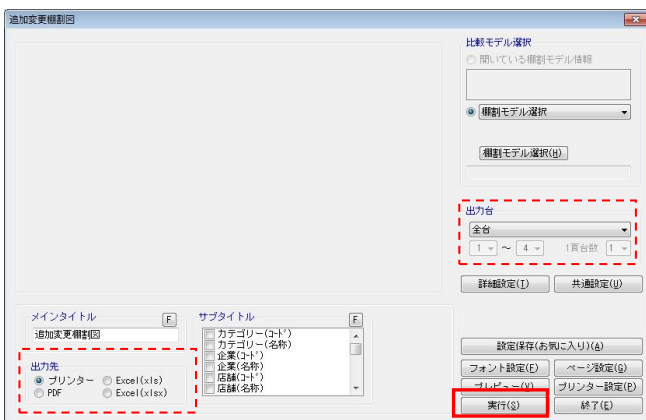
5. [変更内容] タブより、変更したい内容の選択と色分の設定が可能です。

出力変更内容や色分設定、凡例を出力するか等の設定を行ない[設定] をクリックします。

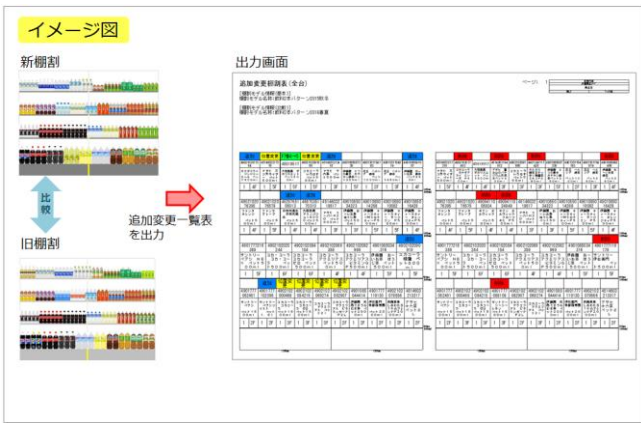


6. 出力台や出力先の設定を行ない、[実行] より出力します。

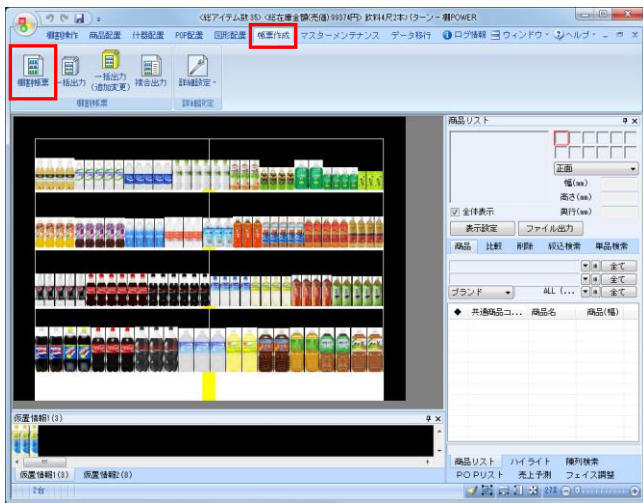
その他、「棚割図」の設定については2ページを参照してください。



■追加変更棚割表

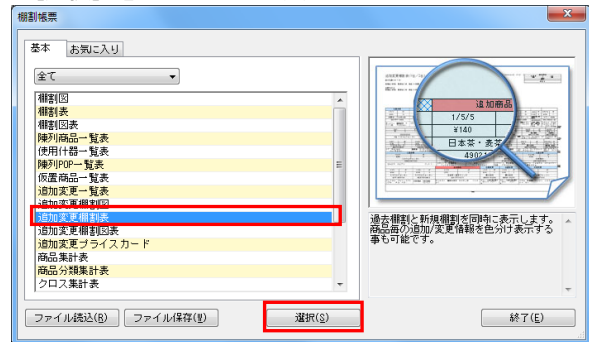


1. 2つの棚割モデルを比較して、追加、削除、位置変更など変更結果を棚割表形式で出力します。



2. [帳票作成] タブ [棚割帳票] をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。

[基本] メニューより、「追加変更棚割表」をクリックして [選択] をクリックします。



※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です



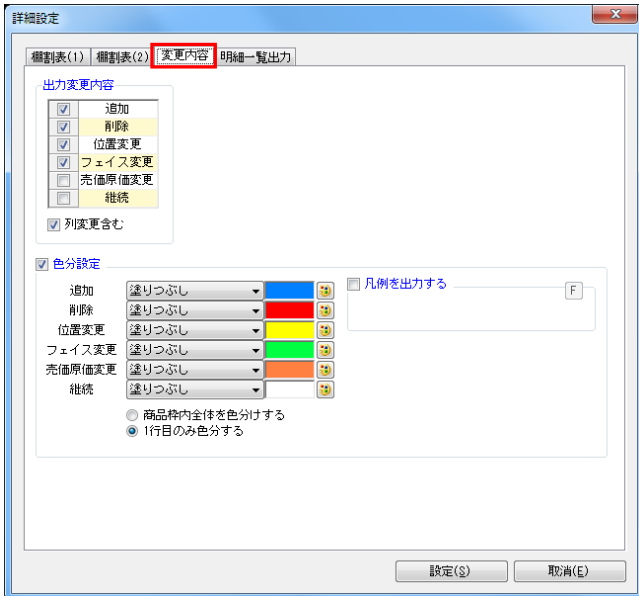
3. [棚割モデル選択] より、比較対象の棚割モデルを選択します。棚割モデルの選択方法は17ページの3を参照してください。



4. 詳細設定より出力時の細かな設定ができます。[詳細設定] を選択します。

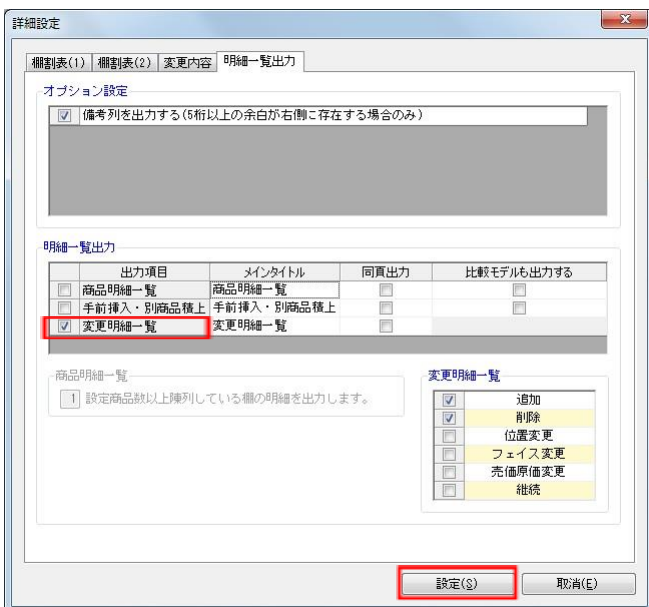
参考

比較する棚割モデルの棚割表（削除商品の表示）も出力する場合は、[詳細設定] - [棚割表 (1)] タブ内のオプション設定「比較モデルの棚割表も出力する」を有効にします。



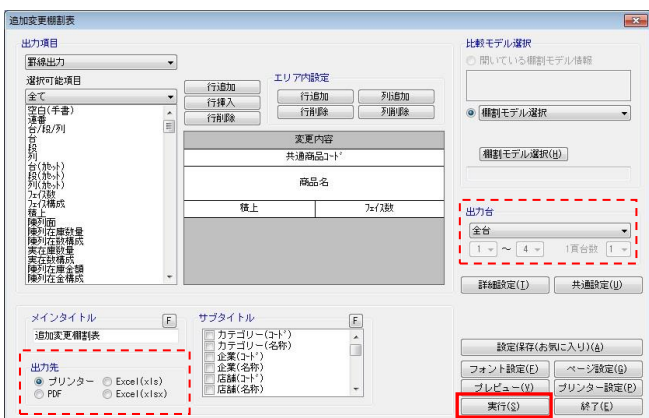
5. 「変更内容」タブより、変更したい内容の選択と色分の設定が可能です。

出力変更内容や色分設定、凡例を出力するか等の設定を行ないます。



6. 別途、追加や削除の商品一覧などを付けたい場合は、「明細一覧出力」より明細一覧出力の「変更明細一覧」を有効にします。

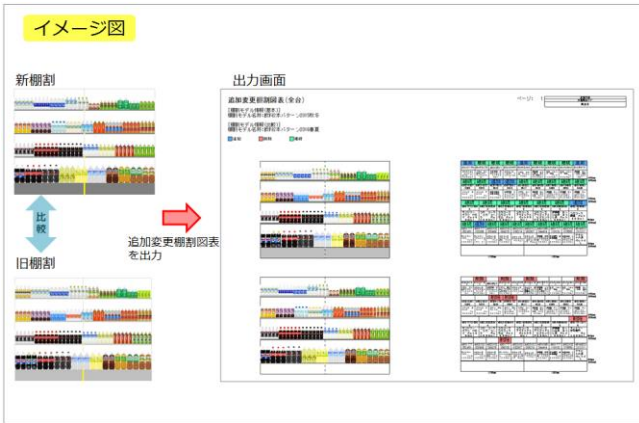
詳細設定後、「設定」をクリックします。



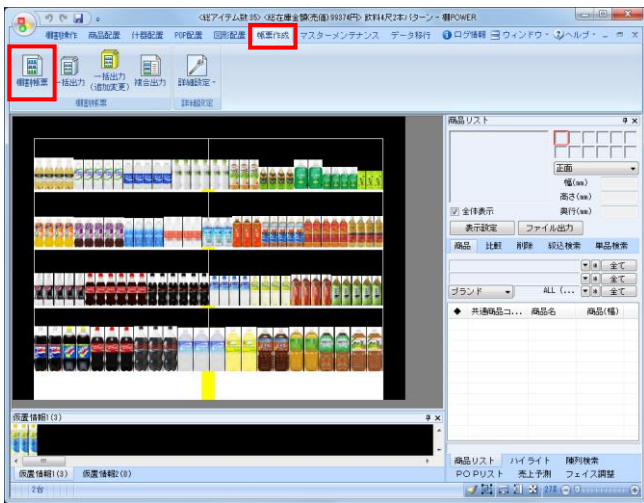
7. 出力項目、その他設定を行ないます。その他、「棚割表」の設定については4ページを参照してください。

出力台や出力先の設定を行ない、「実行」より出力します。

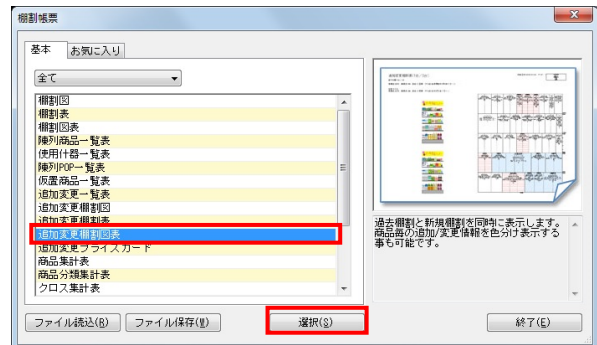
■追加変更棚割図表



1. 2つの棚割モデルを比較して、追加、削除、位置変更などの変更結果を棚割図表形式で出力します。



2. 「帳票作成」タブー「棚割帳票」をクリックします。作成できる帳票の一覧メニューが表示されます。「基本」メニューより、「追加変更棚割図表」をクリックして「選択」をクリックします。



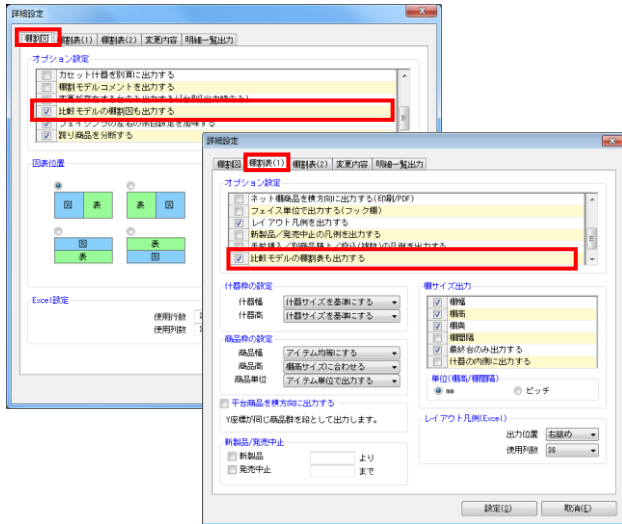
※帳票名をダブルクリックしても同様の操作が可能です



3. 「棚割モデル選択」より、比較対象の棚割モデルを選択します。棚割モデルの選択方法は17ページの3を参照してください。

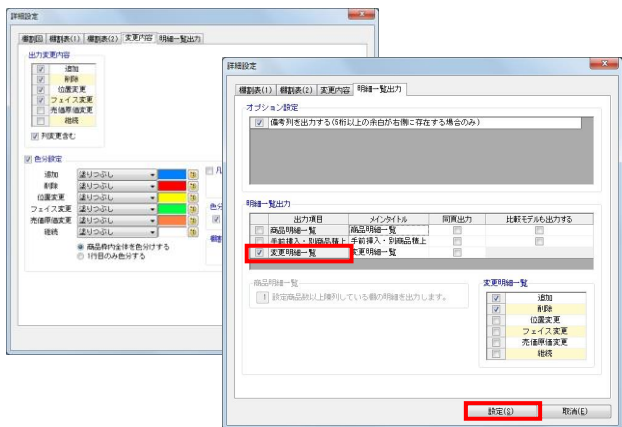


4. 詳細設定より出力時の細かな設定ができます。「詳細設定」を選択します。



5. 比較する棚割モデルの棚割図（削除商品の表示）も出力する場合は、[棚割図] タブより、オプション設定内の「比較モデルの棚割表も出力する」を有効にします。

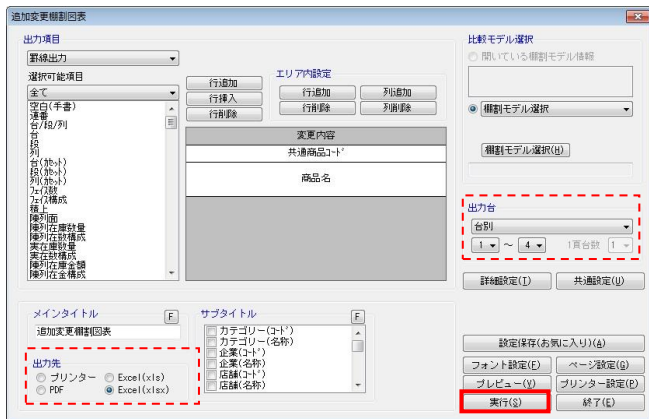
比較する棚割モデルの棚割表（削除商品の表示）も出力する場合は、[棚割表 (1)] タブ内のオプション設定内の「比較モデルの棚割表も出力する」を有効にします。



6. [変更内容] タブより、変更したい内容の選択と色分の設定を行ないます。

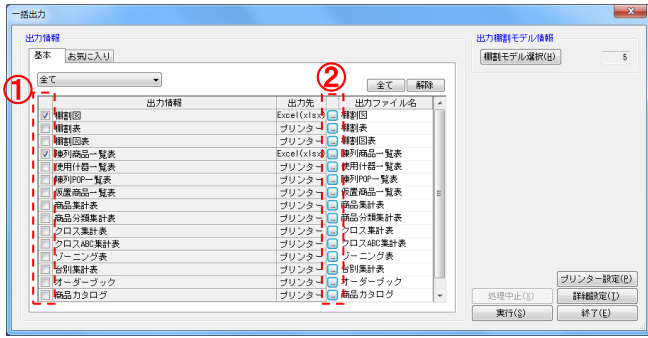
別途、追加や削除の商品一覧などを付けたい場合は、[明細一覧出力] タブより明細一覧出力の「変更明細一覧」を有効にします。

設定後には [設定] をクリックします。



7. 出力項目、その他設定を行ないます。その他、「棚割図表」の設定については8ページを参照してください。

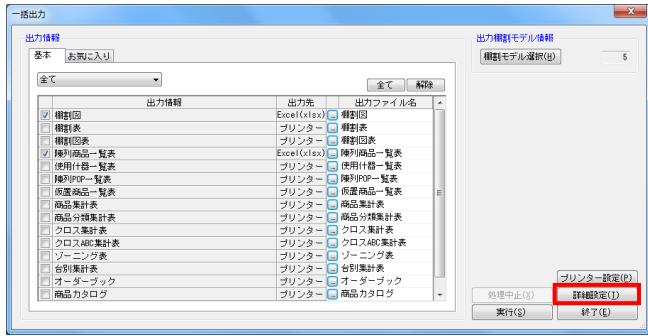
出力台や出力先の設定を行ない、[実行] より出力します。



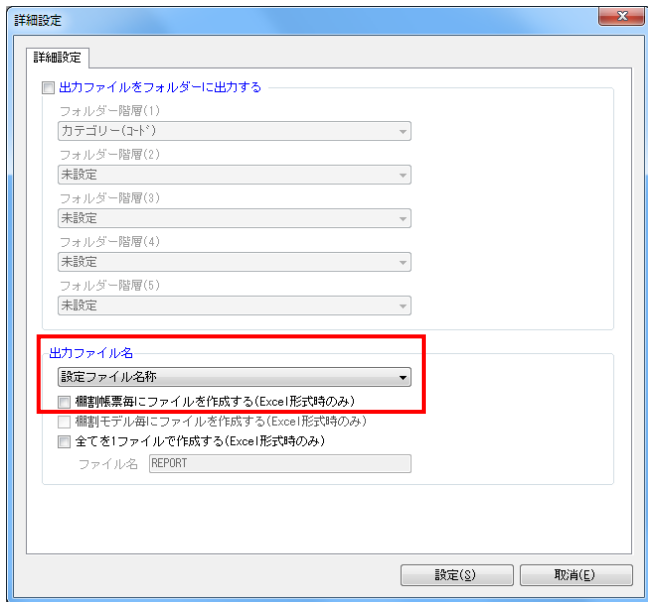
4. [基本] または [お気に入り] タブより、出力したい帳票にチェックを付けます。(①)

各帳票の出力先や設定を変更するには、「出力先」横のセレクトボタンをクリックして、設定画面を表示します。(②)

参考
各帳票の設定方法については「Ⅱ. 棚割モデルの陳列内容を出力する」の2ページ~を参照してください。



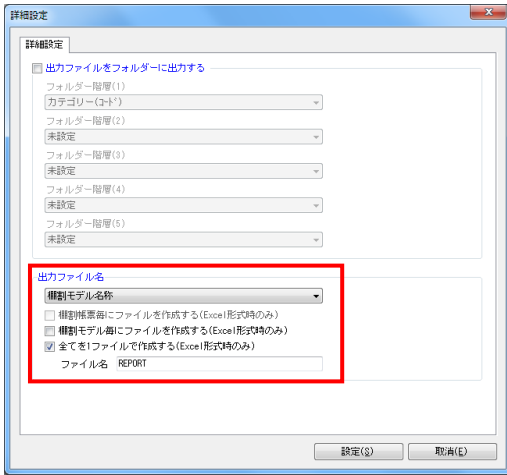
5. 出力するファイル名を選択した棚割モデル名にしたい、棚割モデル単位でファイルをまとめたい、全棚割モデル分の帳票を1ファイルにまとめたいなど、出力時の設定は [詳細設定] より行ないます。



6. 出力ファイル名を設定します。
各項目の設定は以下の通りです。

【設定ファイル名称】
ファイル名が帳票の名称で出力されます。

【棚割帳票毎にファイルを作成する】
各帳票別にファイルを出力します。
出力ファイル名が「設定ファイル名」でExcel出力時のみ反映できます。



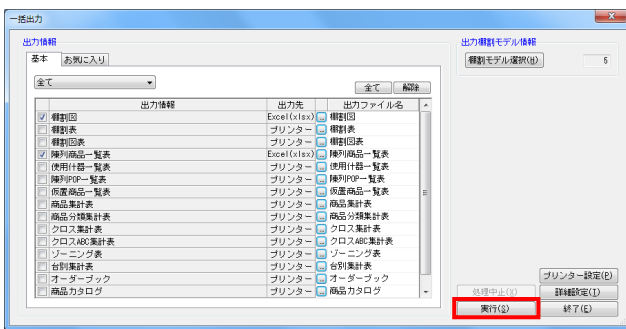
7. 出力ファイル名を「棚割モデル名称」に変更すると棚割モデル名称がファイル名に反映されます。また、各項目の設定は以下の通りです。

【棚割モデル名称】
棚割モデルの名称で出力します

【棚割モデル毎にファイルを作成する】
棚割モデル単位に異なる帳票をまとめて出力します。出力ファイル名が「棚割モデル名称」でExcel出力時のみ反映できます。

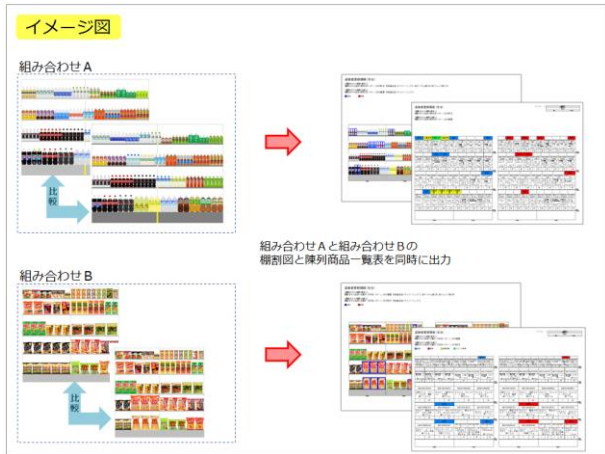
【全てを1ファイルで作成する】
すべての棚割モデル、帳票をまとめて1ファイルで出力します (Excel出力の時のみ)

たとえば、5つ棚割モデルを選択して「棚割図」と「陳列商品一覧表」を出力する場合に、5つすべての棚割モデルの棚割図と陳列商品一覧表を1Excelファイルに出力するには、出力ファイル名を「棚割モデル名称」にし、「全てを1ファイルで作成する」を有効にして設定します。



8. [実行] をクリックし、保存先を選択して出力します。

■一括出力(追加変更)

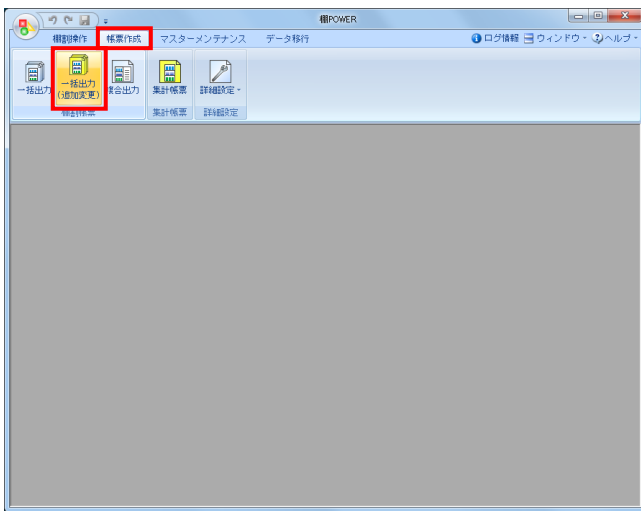


1. 追加変更系の帳票の一括出力は、[一括出力(追加変更)]から出力できます。

こちら棚割モデルを表示している場合は、表示している棚割モデルを出力対象として、比較する棚割モデルを選択して出力しますが、棚割モデルを表示していない場合は複数の棚割モデルを選択して出力できます。

参考

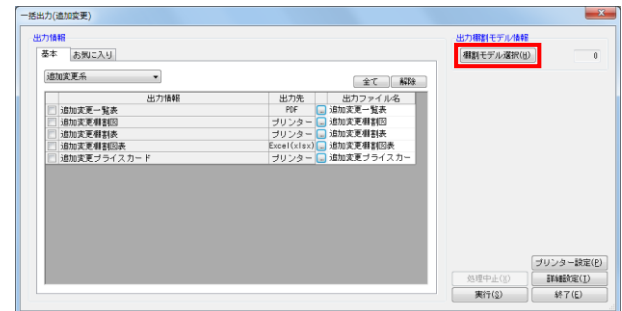
- ・棚割モデルを表示している場合の一括出力機能については、25ページを参照してください。
- ・複数の棚割モデルを選択して、棚割図などの帳票と追加変更系の帳票を一括で出力する場合は、31ページを参照してください。



2. 棚割モデルをすべて閉じます。
[帳票作成] タブ- [一括出力(追加変更)] をクリックします。

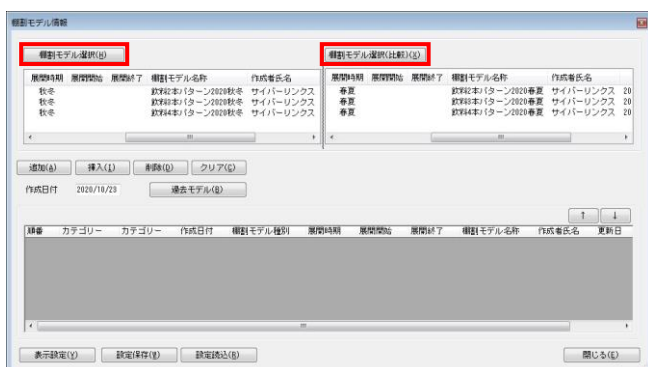
出力できる帳票の一覧が表示されます。

[棚割モデル選択] より棚割モデルの組み合わせを設定します。



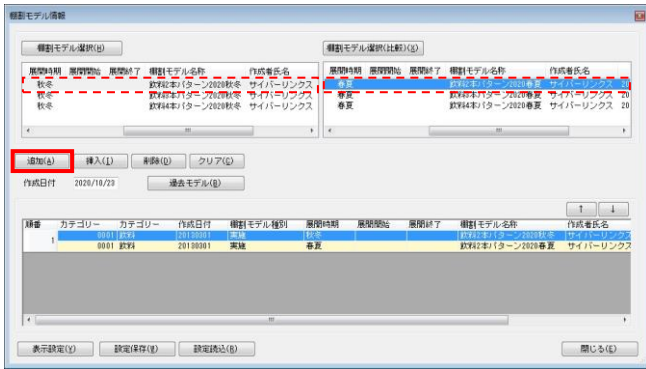
3. [棚割モデル選択] より基準となる棚割モデルを選択します。

[棚割モデル選択(比較)] には、比較対象の棚割モデルを選択します。



参考

陳列変更前と変更後の棚割モデルを比較する場合は、[棚割モデル選択] で陳列変更後の棚割モデルを選択して [棚割モデル選択(比較)] で陳列変更前の棚割モデルを選択します。



4. [棚割モデル選択] 側で選択した棚割モデルをクリックします。
次に [棚割モデル選択 (比較)] 側で選択した棚割モデルより対(比較)にしたい棚割モデルをクリックして、[追加] をクリックします。

追加した棚割モデルの組み合わせは画面下部に表示されるため、手順順で他の棚割モデルの組み合わせも追加していきます。

設定後には [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

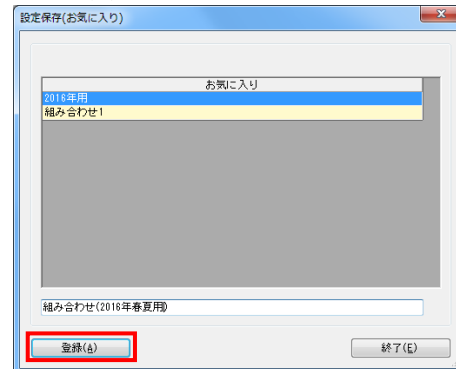
参考

作成日付を元に自動で組合せを作成する場合は、作成日付を指定し [過去モデル] をクリックすると、指定した日付を元に直近過去の棚割モデルを自動で検索し組合せを設定します。



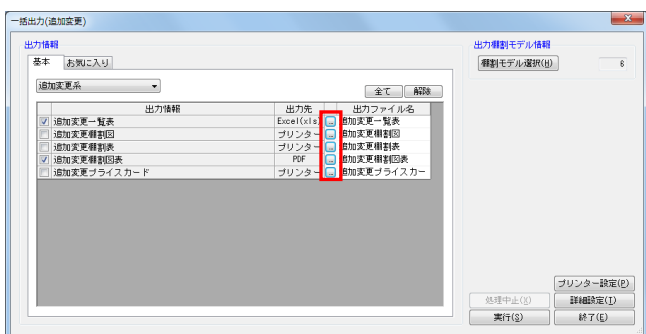
5. 棚割モデルの組み合わせ結果を保存することも可能です。棚割モデルの組み合わせ結果を保存する場合には、[設定保存] より名称を入力して登録を実行します。

保存した組み合わせは [設定読込] より呼出すことが可能です。



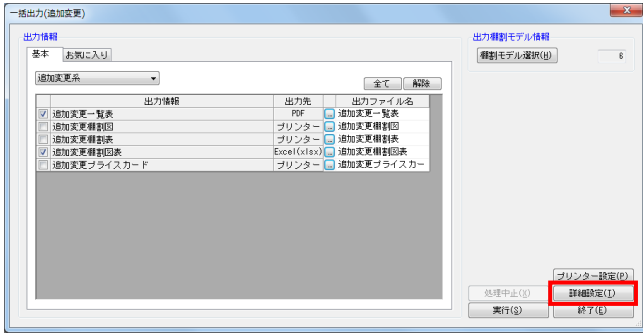
6. [基本] または [お気に入り] タブより、出力したい帳票にチェックを付けます。

各帳票の出力先や設定を変更するには、「出力先」横のセレクトボタンをクリックして、設定画面を表示します。



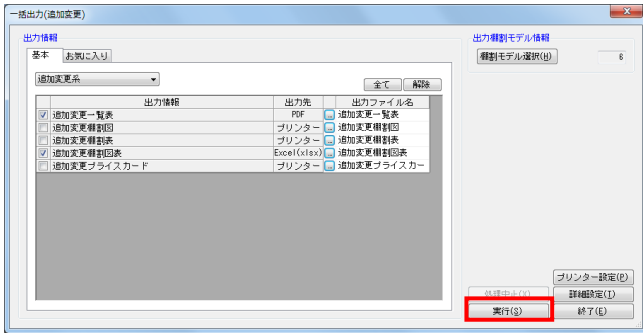
参考

各追加変更の帳票の設定については17~18ページを参照してください。



7. 出力するファイル名を選択した棚割モデル名にしたい、棚割モデル単位でファイルをまとめたい、全棚割モデル分の帳票を1ファイルにまとめたいなど、出力時の設定は「詳細設定」より行ないます。

詳細は27ページを参照してください。

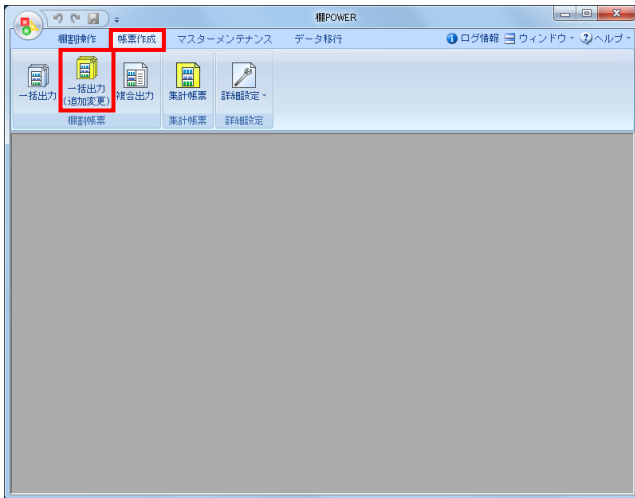


8. 「実行」をクリックし、保存先を選択して出力します。

■一括出力(同時出力)

棚割図などの帳票と、追加変更一覧表などの追加変更系の帳票を同時に出力できます。

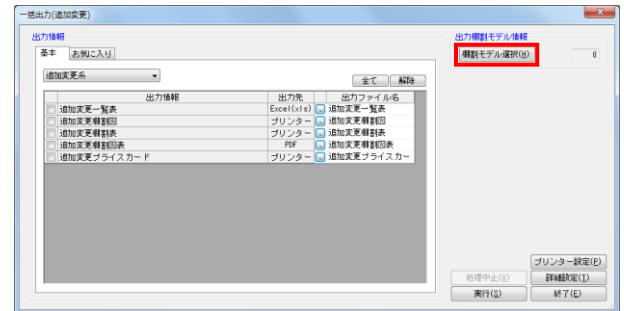
複数の棚割モデルを選択し、棚割図表系や追加変更系の帳票を一度に出力したい場合は、下記の方法で出力します。



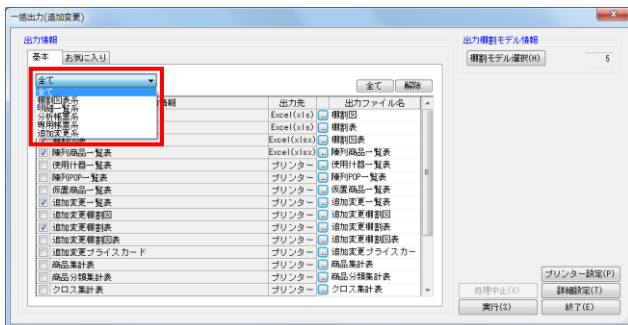
1. 棚割モデルをすべて閉じます。
 [帳票作成] タブ [一括出力 (追加変更)] をクリックします

出力できる帳票の一覧が表示されます。

[棚割モデル選択] より棚割モデルの組み合わせを設定します。



※設定方法は、29ページの3以降を参照してください。



2. [追加変更系 ▼] をクリックし、ドロップダウンリストより「全て」を選択します。

表示する帳票を絞り込む場合は、出力したい帳票の系統を選択してください。

3. 出力したい帳票を有効にします。
4. [実行] をクリックし、印刷またはファイル保存を行います。

※追加変更系以外の帳票は [棚割モデル選択] で、
 [棚割モデル選択 (H)] (画面左側) に選択された棚割モデルを対象に出力します。

以上で「棚POWER操作テキスト 帳票作成編」は終了です。

-
- ※ 棚POWERは株式会社サイバーリンクスの登録商標です。
 - ※ その他記載されている商品名、社名は一般に各社の商標および登録商標です。

スペースマネジメントシステム

棚POWER[®]

帳票作成編

2020年10月発行（第4版）



発行

株式会社サイバーリンクス
棚POWER サポートセンター
